Dell™ Dimension™ XPS

ヘッドフォンコネクタ
マイクコネクタ
USB 2.0 コネクタ（2）
IEEE 1394 コネクタ

シリアルコネクタ 1
シリアルコネクタ 2
診断ライト（4）
キーボードコネクタ
USB 2.0 コネクタ（6）
DVI ビデオコネクタ
モデム
PCI サウンドカード
（IEEE 1394 内蔵）
カードスロット（4）

ファン（2）
パラレルコネクタ
カバーリリースラッチ
マウスコネクタ
ネットワークアダプタコネクタ
VGA ビデオコネクタ
セキュリティケーブルスロット
パドロックリング
電源コネクタ

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語については、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、33 ページを参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル WHL

2003 年 12 月　P/N D3453　Rev. A02

目次

2 性能の最適化

3 問題の解決

4 高度なトラブルシューティング

5 部品の拡張および交換

6 付録

⚠警告：安全にお使いいただくために

コンピュータを安全にお使いいただくために、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、コンピュータと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

安全について : 一般的な注意事項

- 訓練を受けたサービス技術者以外は、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順には、必ず厳密に従ってください。
- 感電の危険がありますので、コンピュータを使用するときは、コンピュータ本体とデバイスの電源ケーブルを、正しい方法でアースされているコンセントに接続してください。これらの電源ケーブルには、正しくアースするため、三芯プラグが使用されています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルからアース用のピンを取り外さないでください。延長ケーブルを使用する必要がある場合、延長ケーブルは三芯プラグのアース用のものを使用してください。

- 感電を防ぐため、雷雨時にはコンピュータを使用しないでください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。
- コンピュータにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- コンピュータをクリーニングする場合、あらかじめコンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体洗剤やエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り 5 秒ほど待ってから、デバイスをコンピュータから取り外します。
- ネットワークケーブルを取り外す際にコンピュータがショートするのを防ぐため、まずお使いのコンピュータ背面にあるネットワークアダプタからケーブルを取り外し、次に、壁のネットワークジャックから取り外します。お使いのコンピュータにネットワークケーブルを接続する場合、まず壁のネットワークジャックにケーブルを接続してから、ネットワークアダプタに接続します。
- 突然の一時的な電力の増減からコンピュータを保護するため、サージサプレッサ、ラインコンディショナ、UPS（無停電電源装置）などを使用してください。
- コンピュータのケーブルの上に物を載せないでください。また、ケーブルは人が踏んだり、つまづいたりしないように配線してください。
- コンピュータの開口部に物を入れないでください。内部の部品がショートして発火や感電の原因になります。
- 暖房器具や熱源の近くにコンピュータを置かないでください。また、通気孔をふさがないようにしてください。コンピュータの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にコンピュータを置かないでください。

安全について : コンピュータを使用するとき

コンピュータをお使いになるときは、以下の安全にお取り扱いいただくためのガイドラインに従ってください。

警告：コンピュータのカバー（コンピュータ本体のカバー、ベゼル、フィラーブラケット、ドライブベイカバーなど）を取り外したままの状態でコンピュータを使用しないでください。

- お使いのコンピュータには、次のうちのどれか 1 つが搭載されています。
  - 固定電圧電源装置 — 固定電圧電源装置が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、一定の電圧量でのみ動作します（お使いのコンピュータの動作電圧については、コンピュータの外側に貼付されている規格ラベルを参照してください）。
  - 自動電圧回路 — 自動電圧回路が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、正しい動作電圧が自動的に検出されます。
  - 手動電圧切り替えスイッチ — 背面パネルに電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータでは、正しい動作電圧を手動で設定しなければなりません。ご使用地域の電圧に最も近い値にスイッチを設定してください。

注意 : 手動電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータへの損傷を防ぐため、ご使用地域の AC 電源に最も近い値に電圧切り替えスイッチが設定されていることを確認します。日本で使用できる AC 電源は 100 V ですが、日本でのご使用の際は、電圧切り替えスイッチを 115 V に設定してください。また、モニターやコンピュータに接続しているデバイスもご使用地域の AC 電源で動作するように設定してください。

- コンピュータ内部の作業を始める前に、感電またはシステム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源ケーブルを取り外します。コンピュータが AC 電源に接続されている場合、システム基板の特定の部品に、常に電力が供給され続けます。

安全について : コンピュータ内部の作業をするとき

コンピュータカバーを開く前に、次の作業を順番通りにおこなってください。

警告 : お使いのオンラインの Dell™ マニュアル、またはデルより別途提供されたマニュアルで説明されている場合を除き、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順や作業の手順には厳密に従ってください。

注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り 5 秒ほど待ってから、システム基板からコンポーネントを取り外したり、コンピュータからデバイスを取り外してください。

1. オペレーティングシステムのメニューを使って、正しいコンピュータのシャットダウンをおこないます。
2. コンピュータと接続されているすべてのデバイスの電源を切ります。
3. コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面にあるカードスロット開口部周辺の金属部分などシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がします。

   静電気はコンピュータ内部の部品を損傷させる恐れがあるので、手順をおこなう間は定期的にこの作業をおこない、身体の静電気を逃がしてください。

4 お使いのコンピュータ、およびモニターを含むデバイスをコンセントから取り外します。また、電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。

   これらの手順を踏むことで、感電など身体への危険を防ぐことができます。

さらに、必要に応じて次の点にも注意してください。

- ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。
- 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カードに接続している部品やカードとの接点には触れないでください。カードを持つときは、縁の部分か金属製の取り付けブラケットを持ってください。プロセッサチップなどの部品を持つときは、ピンの部分を持たずに、縁の部分を持ってください。

警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。使用済みのバッテリーは家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせて、バッテリーの処分方法を確認してください。

安全について：静電気障害への対処

静電気はコンピュータ内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、プロセッサなど、お使いのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

コンピュータ内部の作業を続けておこなう場合、定期的にシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順もお勧めします。

- 部品は、コンピュータに取り付ける直前まで静電気防止梱包材に入れておきます。静電気防止梱包材から取り出す直前に身体の静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品は静電気防止梱包材に入れて運びます。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない安全な場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

安全について：快適な使い方

警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

警告：モニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

コンピュータを快適に、効率よく使用するため、コンピュータの設置と使用に関しては、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルにある、コンピュータを快適に使用するための注意事項を守ってください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

安全について：バッテリーの廃棄

お使いのコンピュータにはコイン型リチウムバッテリーが使用されています。コイン型リチウムバッテリーは寿命が長く、交換の必要はほとんどありません。万一取り替えなければならない場合は、112 ページを参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせて、バッテリーの処分方法を確認してください。

コンピュータについて調べる

デルでは、問題を解決するのに役立つ以下のサポートオプションを提供しています。

- Dell ソリューションセンター — マニュアル、ツール、トラブルシューティング情報、およびオンラインサポートへのリンクについては、Microsoft® Windows® デスクトップの Dell ソリューションセンターアイコンをダブルクリックしてください。
- インターネットデルサポート — デルサポートウェブサイト（**support.jp.dell.com**）では、トラブル解決ナビ、Q & A 等のオンラインツールを提供しています。
- デルテクニカルサポート — デルサポートオプションで解決できない Dell™ ハードウェアまたはオペレーティングシステムの問題については、テクニカルサポート担当者に E メールまたは電話でお問い合わせください。

次の表を使って、特定の項目に関する情報がどこに記載されているか確認してください。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• チュートリアルおよび他のハウツー情報へのアクセス • 請求書の入手方法 • 保証期間の延長方法 • マニュアル、ツール、トラブルシューティグ情報、およびオンラインサポートへのリンク	Dell ソリューションセンター Windows のデスクトップ上
• お使いのコンピュータに対応したドライバ • テクニカルサポートに寄せられる質問への回答 • コンピュータのマニュアル	デルサポートウェブサイト — **support.jp.dell.com** デルサポートウェブサイトでは、次のようなオンラインツールを提供しています。 • 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q & A 、Diagnostics（診断）プログラム、インストールガイド、OS アップグレード情報、システムマニュアル • ダウンロード — ファイルライブラリ（ドライバ、ソフトウェアのアップデート） • テクニカルサポートへのお問い合わせ — E メールサポート、電話テクニカルサポート、引き取り修理状況確認 • 各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更情報サービス • その他

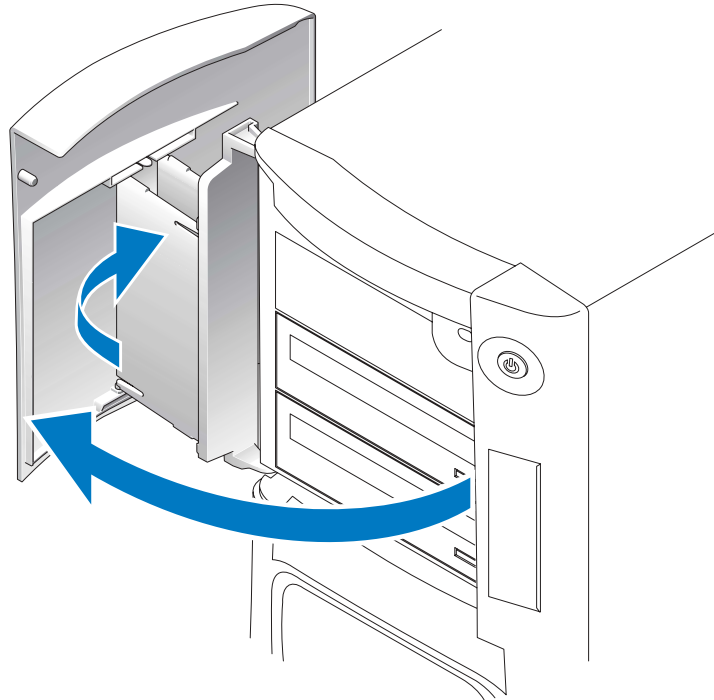
何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• お使いのコンピュータのセットアップ方法	セットアップ図
• コンピュータのセットアップに関する追加情報 • トラブルシューティングおよび問題の解決 • 部品の拡張および交換 • 仕様 • デルへのお問い合わせ	『オーナーズマニュアル』
• Windows を使用するための基本情報 • CD および DVD の再生方法 • スタンバイモードおよび休止状態モードの使い方 • 画面解像度の変更方法 • お使いのコンピュータをクリーニングする	Dell Dimension ヘルプファイル **1** **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 **2** **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。 **3** **Dell™ Dimension™ ヘルプ** をクリックします。
• Windows XP の使い方 • お使いのコンピュータのマニュアル • お使いのデバイス（モデムなど）のマニュアル	Windows ヘルプとサポートセンター **1** **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 **2** 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 **3** 問題に関するトピックをクリックします。 **4** 画面の指示に従います。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム • コンピュータのドライバ • コンピュータのマニュアル • コンピュータのデバイスのマニュアル	『ResourceCD』 マニュアルとドライバは、出荷時にコンピュータにプリインストールされています。CD を使用して、ドライバを再インストールしたり（61 ページ参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラム（57 ページ参照）やマニュアルにアクセスできます。 CD に収録されている Readme ファイルには、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。
• オペレーティングシステムの再インストール	『オペレーティングシステム CD』 Windows XP は、出荷時にコンピュータにプリインストールされています。CD を使って、オペレーティングシステムを再インストールすることができます（67 ページ参照）。『オペレーティングシステム CD』を使って、オペレーティングシステムを再インストールした後、『ResourceCD』を使って、お使いのコンピュータに付属しているデバイス用のドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー）は、コンピュータに記載されています。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• サービスタグおよびエクスプレスサービスコード • Microsoft® Windows® ライセンスラベル	サービスタグおよび Microsoft Windows ラベル これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付されています。 •デルサポートにアクセスする際、またはテクニカルサポートについてデルにお問い合わせになる際は、サービスタグを使ってお使いのコンピュータを識別します。 •テクニカルサポートについてデルにお問い合わせになる際は、エクスプレスサービスコードを自動音声案内に入力します。エクスプレスサービスコードが利用できない地域もあります。 •お使いのコンピュータに Windows を再インストールする場合、Windows ライセンスラベルに記載されている数字を使用します。

1

コンピュータの使い方

ドライブドアを開く

2 台のモニターの接続

メモ：VGA コネクタがある 2 台のモニターを接続する場合、オプションの VGA アダプタが必要です。2 台のフラットパネルモニターを接続する場合、少なくとも 1 台に VGA コネクタがある必要があります。テレビを接続する場合、テレビに加えて接続できるモニターは 1 台のみです（VGA または DVI）。

デュアルモニターに対応しているビデオカードをご購入された場合、以下の手順に従ってモニターを接続して有効にします。この手順では、2 台の VGA コネクタ付きモニター、VGA コネクタ付きモニターおよび DVI コネクタ付きモニター、またはテレビの接続方法について説明します。

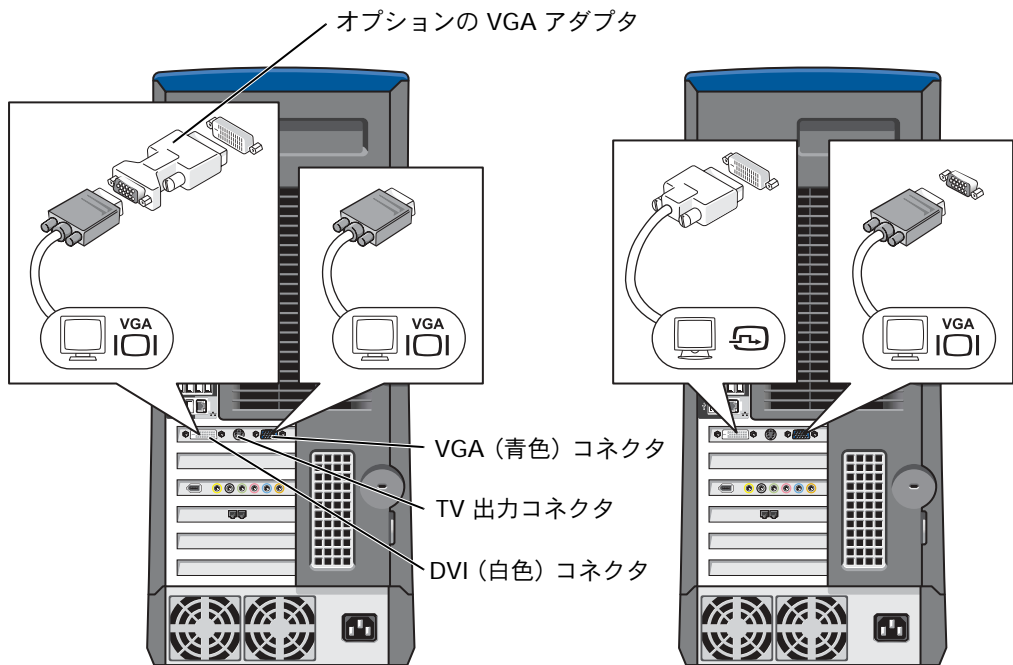
1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、**スタート** メニューからお使いのコンピュータをシャットダウンします（28 ページ参照）。

2 コンピュータ背面のコネクタにモニターケーブルを接続します。

メモ：お使いのコンピュータに内蔵ビデオがある場合、どちらのモニターも内蔵ビデオコネクタに接続しないでください。

両方のモニターに VGA コネクタがある場合 …

a 片方のモニターをコンピュータの VGA（青色）コネクタに接続します。

b もう片方のモニターをオプションの VGA アダプタに接続して、VGA アダプタをコンピュータの DVI（白色）コネクタに接続します。

片方のモニターに VGA コネクタがあり、もう片方のモニターに DVI コネクタがある場合 …

a モニターの VGA コネクタをコンピュータの VGA（青色）コネクタに接続します。

b もう片方のモニターの DVI コネクタをコンピュータの DVI（白色）コネクタに接続します。

メモ：コンピュータにテレビを接続するには、S ビデオケーブルを購入する必要があります。S ビデオケーブルは、ほとんどの電器店で購入できます。お使いのコンピュータには、S ビデオケーブルは付属していません。

モニターの片方がテレビの場合 …

a S ビデオケーブルの片方の端をコンピュータの TV 出力コネクタに接続します。

b S ビデオケーブルのもう片方の端をお使いのテレビの S ビデオ入力コネクタに接続します。

c 19 ページで説明されているように、VGA または DVI モニターを接続します。

3 コンピュータの電源を入れます。

Microsoft® Windows® デスクトップがプライマリモニターに表示されます。

4 画面設定で、クローンモードまたは拡張デスクトップモードを有効にします。

- クローンモードでは、両方のモニターに同じ画像が表示されます。
- 拡張デスクトップモードでは、1 つの画面から別の画面にオブジェクトをドラッグして、表示できるスペースを 2 倍にすることができます。

お使いのビデオカードの画面設定を変更するには、ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください（**スタート** ボタン、**ヘルプとサポートセンター**、**ユーザーズガイドおよびシステムガイド**、**デバイスガイド** とクリックして、お使いのビデオカードのガイドをクリックします）。

グラフィックカードの設定

設定と機能

デルでは、お使いのビデオカードをほとんどのゲームや他のビデオプログラムで最適な性能になるように設定しています。ただし、ゲームの製造元によってはゲームが正しく実行されるように、設定を変更したり特定の機能を有効 / 無効にすることを推奨していることがあります。また、ご自身のゲームスタイルに合うように、設定を調整することがあるかもしれません。

Direct3D または OpenGL などいくつかの設定では、性能または画質を高めるようにカードを調整することができます。コントラストや色のレベルなどの他の設定は、見た目を調整します。

TV 出力に対応している特定のハイエンドグラフィックカードも利用可能です。TV 出力に対応しているビデオカードを使うと、お使いのコンピュータをモニターに加えてテレビに接続することができます。TV 出力設定は、オプションの DVD プレーヤーを使って映画を鑑賞したり、プレゼンテーションをおこなうのに適しています。お使いのコンピュータへのテレビの接続については、17 ページを参照してください。

お使いのグラフィックカードの動作モード、設定、および機能の調整についての情報と手順については …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックします。
3 お使いのグラフィックカードのガイドをクリックします。

グラフィックカードドライバの削除

お使いのコンピュータに異なるグラフィックカードを取り付ける場合、まず取り付けられているグラフィックカードのドライバを削除する必要があります。グラフィックカードのドライバを削除するには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。
3 **現在インストールされているプログラム** 一覧で、グラフィックカードの名前をクリックします。
4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックして、画面の指示に従います。

ドライバを削除した後、新しいカードを取り付け（90 ページの「AGP カード」を参照）、カードに付属しているマニュアルを参照して、新しいカードのドライバをインストールします。

メモ：お使いのコンピュータに付属していたグラフィックカードを再度取り付ける場合、カードのドライバは『Dell Dimension ResourceCD』に収録されています（詳細については、61 ページの「ドライバ」を参照）。

シリアル ATA ドライブについて

お使いの Dell™ Dimension™ XPS コンピュータは、IDE ハードドライブとシリアル ATA ハードドライブの両方に対応しています。シリアル ATA ドライブを使うと、シリアルテクノロジおよび IDE ケーブルより薄くて長いフレキシブルケーブルを利用したデータ転送によって、以下の恩恵を受けることができます。

- 改良されたケーブル配線によるシャーシ内の通気効率の向上
- より小さなケーブルコネクタによるシステム基板およびハードドライブ上のスペースの増加。ケーブル配線の改良とともに、シャーシ内のスペースを効率的に利用することができます。

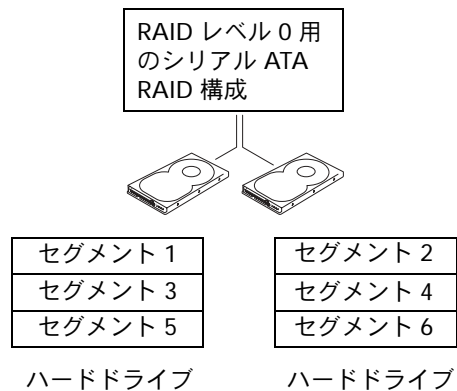
シリアル ATA ドライブ接続については、93 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

RAID 構成について

この項では、コンピュータのご購入時に選択された RAID 構成の概要について説明します。コンピュータ業界では異なる使用目的のためにいくつかの RAID 構成がありますが、デルでは、Dimension XPS コンピュータで RAID レベル 0 または RAID レベル 1 のいずれかを提供します。RAID レベル 0 構成は高性能ゲーム用に、また RAID レベル 1 構成はデジタル写真 / オーディオ用のデータの整合性要件用にお勧めします。

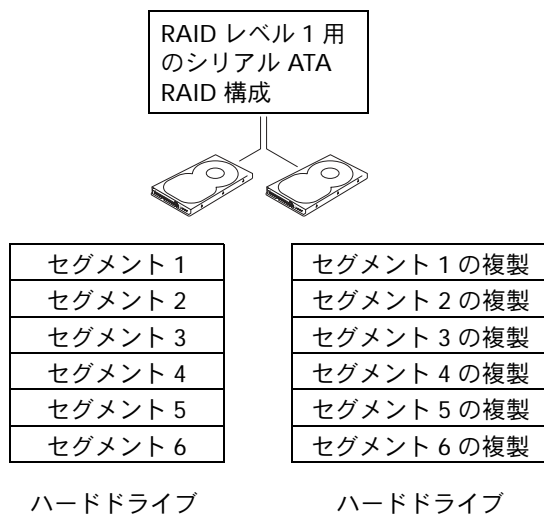
メモ：RAID レベルは、階級を示すものではありません。RAID レベル 1 構成は、本質的に RAID レベル 0 構成より良質というわけではありません。

RAID レベル 0

RAID レベル 0 は、「データストライピング」というストレージ技術を使用して、高いデータアクセス速度を提供します。データストライピングは、データの連続したセグメント（またはストライプ）を物理ドライブに順次書き込み、より大きな仮想ドライブを作成します。データストライピングを使うと、1 つのドライブでデータを読み出している間に、別のドライブで次のブロックを探しながら読み出すことができます。

RAID レベル 0 構成のもう 1 つの利点は、ドライブの最大容量を利用できることです。120 GB のドライブが 2 つ取り付けられている場合、240 GB をデータの保存に使用することができます。

注意：RAID レベル 0 はデータの冗長性を提供しないので、1 つのドライブが故障した場合、別のドライブのデータにもアクセスできなくなります。しがたって、RAID レベル 0 構成を使用する際は、定期的なバックアップをおこなってください。

RAID レベル 1

RAID レベル 1 は、「ミラーリング」というデータ冗長のストレージ技術を使用します。プライマリドライブにデータが書き込まれる際、データは別のドライブに複製（またはミラー）されます。RAID レベル 1 構成では、データの冗長性のためにデータアクセス速度が犠牲になります。

ドライブが故障すると、次の読み出し / 書き込み動作は、正常に動作しているドライブでおこなわれます。正常に動作しているドライブを使って、交換用のドライブでデータを再構築することができます。また、データは両方のドライブで複製されるので、2 つの 120 GB の RAID レベル 1 ドライブは、データの保存に 120 GB を利用できます。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元の（古い）コンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。以下のデータが転送できます。

- E メール
- ツールバー設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットブックマーク

ネットワークまたはシリアル接続を介してデータを新しいコンピュータに転送したり、書き込み可能な CD またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存することができます。

新しいコンピュータに情報を転送するには …

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
4. **Windows XP CDがありますか?** 画面で、**Windows XP CDからウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5. **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには …

1. 古いコンピュータに、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2. **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3. **実行する操作の選択** 画面が表示されたら、**ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。

6 **転送方法を選択してください** 画面で、希望の転送方法をクリックします。

7 **何を転送しますか？** 画面で、転送するアイテムをクリックして、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています…** 画面が表示されます。

8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには …

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選んで、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の転送ウィザードの完了** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

CD および DVD のコピー

メモ：CD または DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

この項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD / CD-RW コンボドライブが搭載されているコンピュータのみに適用されます。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。Sonic RecordNow を使用して、コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成することもできます。手順については、コンピュータに付属している Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上角にある疑問符（!）アイコンをクリックして、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピー方法

メモ：DVD / CD-RW コンボドライブをお持ちで、記録中に問題が発生する場合、Sonic サポートウェブサイト **sonicjapan.co.jp** にアクセスして、利用できるソフトウェアパッチがあるか確認してください。

メモ：市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** → **RecordNow!** とポイントします。
2. コピーする CD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブをクリックします。
3. **バックアップ** をクリックします。
4. CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
   - CD または DVD ドライブが 1 つある場合、設定が正しいか確認して、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにコピーします。

     プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD を CD または DVD ドライブに挿入して、**OK** をクリックします。
   - CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を挿入したドライブを選び、**バックアップ** をクリックします。コンピュータは、CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

   ソース CD または DVD のコピーが完了すると、CD または DVD トレイが自動的に開きます。

空の CD-R または空の CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW ディスクという二種類の異なった記録メディアに書き込みをおこないます。空の CD-R は、音楽の保存やデータファイルを恒久的に保存するのに使用します。CD-R を作成したら、記録方法を変えない限りそのディスクに書き込むことはできません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートをおこなうのに使用します。

役に立つヒント

- Sonic RecordNow を起動し、RecordNow プロジェクトを開いてから、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップしてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を焼くには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW は、ほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic RecordNow を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW に最大容量を焼かないでください。たとえば、650 MB の空の CD に 650 MB のファイルをコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 または 2 MB を必要とします。
- CD への記録方法に慣れるまでは、空の CD-RW ディスクを使って CD への記録を練習してください。間違えた場合でも、CD-RW であればデータを消去して再度やりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに恒久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Sonic サポートウェブサイト **sonicjapan.co.jp** に、役に立つヒントが他にもありますので、参照してください。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** の順にポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。

2 **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。

3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ：**インターネットに直接接続している** という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。

5 **ネットワークセットアップウィザード** に戻り、画面の指示に従います。

コンピュータの電源を切る

注意：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押さずに、以下で説明するMicrosoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。

2 **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

シャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源は切れます。

2

性能の最適化

Intel® Performance Acceleration Technology

お使いの Dell™ Dimension™ XPS コンピュータは、PAT（Performance Acceleration Technology）を利用する Intel 875P チップセットを搭載しています。PAT は、DDR 400 メモリと FSB 800 プロセッサ間のラテンシを減らして性能を最適化し、今日の厳しいソフトウェア要件に合うような高い性能を提供するよう設計されています。

DDR メモリとプロセッサ FSB

お使いのコンピュータの DDR メモリの性能は、取り付けられているメモリのタイプおよびお使いのプロセッサのクロックスピードに依存します。お使いのコンピュータのメモリタイプは DDR 400（PC3200）なので、FSB 800 MHz プロセッサでは、メモリは 400 MHz で動作し、FSB 533 プロセッサでは、メモリは 333 MHz で動作します。メモリの取り付けついては、82 ページを参照してください。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、115 ページの「メモリ」を参照してください。

ハイパースレッディング

メモ：ハイパースレッディングは、3.06 GHz 以上のプロセッサを搭載したコンピュータまたは FSB 800 MHz プロセッサが動作しているコンピュータでのみサポートされています。

ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジで、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることによってコンピュータパフォーマンスを全体的に向上させ、複数の特定のタスクを同時に処理することを可能にします。Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジを利用するために最適化されているので、Windows XP を使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることになりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合もあります。ソフトウェアの製造元に、アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法についてお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジを使用しているか確認するには …

1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、プロセッサタイプの横のプラス（＋）サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティで、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、119 ページを参照してください。

オーバークロッキング

デルは、プロセッサのオーバークロッキングを防ぐためにセットアップユーティリティのプロセッサ倍率オプションをロックしています。オーバークロッキングを防止している最大の理由は、デルの性能研究室で、デルコンピュータが最大の性能を得ることができるように精力的に試験し、またシステムレベルでの微調整をおこなっているためです。研究室で導入されていない性能に関する変更をおこなうと、性能の低下を引き起こすことがあります。ご注文の構成でお受け取りになる際に、コンピュータは最高の性能に調整されています。

また第二の理由として、オーバークロッキングされたコンピュータは一般的に、過剰な熱と電界を生じ、プロセッサを熱で消耗させ、プロセッサの寿命を短くする可能性があるからです。わずかなオーバークロッキングでもコンピュータを不安定にし、ロックアップさせる恐れがあります。

補修部品市場の様々なソースから性能を変更する製品を利用できますが、デルでは、デルコンピュータでのそれらの製品の使用はお勧めしません。また、サポートも致しません。

3

問題の解決

問題の特定

問題が発生した場合、下の図を使用して、解決方法を説明しているページを参照してください。

今、問題があるのは・・・
NO
ビデオまたはモニタです。
YES
51 ページ参照
サウンドまたはスピーカーです。
YES
49 ページ参照
モデムです。
YES
37 ページ参照
マウスです。
YES
44 ページ参照
キーボードです。
YES
43 ページ参照
ハードドライブまたはディスクドライブです。
YES
34 ページ参照
ネットワークアダプタです。
YES
45 ページ参照
スキャナです。
YES
48 ページ参照
Windowsのエラーメッセージが表示されます。
YES
38 ページ参照
アプリケーションプログラムです。
YES
39 ページ参照
インターネットです。
YES
37 ページ参照
Eメールです。
YES
37 ページ参照
上記以外の問題がありますか？
YES
39 ページ参照

ヘルプ情報を探す

『DELL DIMENSION ヘルプ』ファイルにアクセスするには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
3 **Dell™ Dimension™ ヘルプ** をクリックします。

WINDOWS ヘルプにアクセスするには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
3 問題に関するトピックをクリックします。
4 画面の指示に従います。

お使いのコンピュータに関する情報の詳細を調べます — 13 ページを参照してください。

バッテリーの問題

⚠ **警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせて、バッテリーの処分方法を確認してください。**

⚠ **警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。**

バッテリーを交換します — コンピュータを起動した後に日時の情報を繰り返しリセットしなければならない場合、またはスタートアップの際に間違った日時が表示される場合は、バッテリーを交換します（112 ページ参照）。交換してもバッテリーが正常に機能しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

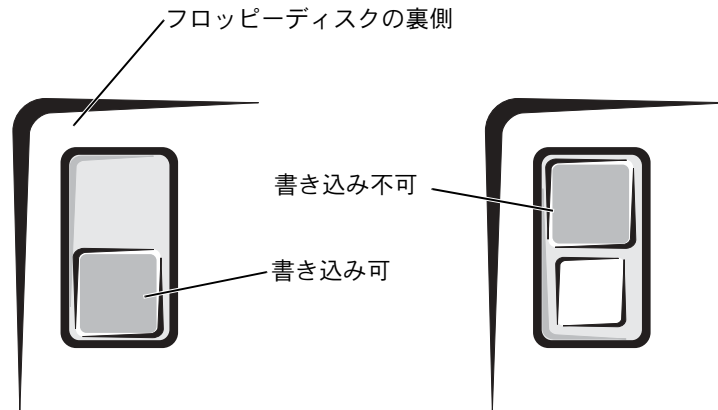
ドライブの問題

フロッピードライブの問題

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピードライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ドライブを確認します

- 元のフロッピーディスクに問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動可能なフロッピーディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ディスクの空き容量が十分か、書き込み禁止になっていないか確認します — ディスクに空き容量があり、書き込み禁止（ロック）になっていないか確認します。次の図を参照してください。

注意：ドライブヘッドを綿棒でクリーニングしないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

ドライブをクリーニングします — 市販のクリーニングキットを使用します。

CD ドライブの問題

メモ：高速 CD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズはドライブや CD の異常ではありません。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。

- 音量つまみを上にドラッグして、音量が上がったか確認します。
- どのボックスにもチェックマークがなく、ミュートが選択されていないか確認します。

他の CD が再生できるか確認します — 元の CD に問題がないか確認するため、別の CD を挿入します。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 49 ページの「サウンドとスピーカーの問題」を参照してください。

WINDOWS がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。CD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ディスクをクリーニングします — CD をクリーニングする手順については、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

CD-RW ドライブに書き込みができない場合

その他のプログラムを閉じます — CD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了します。

CD-RW ディスクへの書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします — 省電力モードについては、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照するか、Windows ヘルプで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

DVD ドライブの問題

メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

他の DVD が再生できるか確認します — 元の DVD に問題がないか確認するため、別の DVD を挿入します。

WINDOWS がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ディスクをクリーニングします — DVD をクリーニングする手順については、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 エラーが発生しているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、**プロパティ**をクリックします。
3 **ツール** タブをクリックします。
4 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
5 **開始** をクリックします。

E メール、モデム、インターネットの問題

メモ：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

メモ：コンピュータを最適な性能で使用するため、モデムカードは PCI スロット 2、3、または 4 のみに取り付けてください。

電話線の接続を確認します — 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは、緑色のラベルが付いているかコネクタの絵柄の横にあります。）電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと収まるまで押し込みます。

電話ジャックを確認します — モデムから電話線を取り外して、電話に接続します。電話の発信音を確認します。

モデムを直接電話ジャックに接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接電話ジャックに接続します。

他の電話線を使用してみます — 3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従ってモデムの問題を特定し、解決します。（コンピュータによっては Modem Helper が利用できないものもあります。）

モデムが WINDOWS® と通信しているか確認します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル**をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
4 **モデム** タブをクリックします。
5 モデムの COM ポートをクリックします。
6 Windows がモデムと通信しているか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

   すべてのコマンドに応答が表示されていれば、モデムに問題はありません。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調整します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
3 表示されたリストで、接続タイプをクリックしてハイライト表示します。
4 **ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** ボタンをクリックします。
5 **キャッチホン機能を解除するための番号** ボックスをクリックして、チェックマークを付けます。
6 ドロップダウンメニューで無効にするコードを選択します（たとえば、*70）。
7 **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。

インターネットへの接続を確認します — E メールプログラム Outlook Express を起動して、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてチェックを外してからインターネットに接続します。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します — 契約については、ISP にお問い合わせください。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）に問い合わせます — 契約している ISP に、サポートについてお問い合わせください。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名に次の文字は使用できません : ¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作をおこない、アプリケーションプログラムを削除して、再インストールします。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
3 削除するプログラムを選択します。
4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックします。
5 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動用以外のフロッピーディスクまたは CD から起動しようとしています。起動可能なフロッピーディスクまたは CD を挿入します。

非システムディスクまたはディスクエラーです — フロッピーディスクが、フロッピードライブ内にあります。フロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータのリソースを回復させるため、コンピュータを再起動する必要がある場合もあります。その場合、使いたいプログラムを最初に開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。空のディスクにコピーするか、容量の大きなディスクを使用します。

x:¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — フロッピードライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにフロッピーディスクを挿入して、もう一度試してみます。

プログラムの一般的な問題

コンピュータの反応が停止した場合

コンピュータの電源を切ります — コンピュータが動かなくなったり、キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 〜 10 秒以上押します。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータの電源を入れます。オペレーティングシステムのシャットダウンを実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

1 <Ctrl> <Shift> <Esc> を同時に押します。
2 **アプリケーション** をクリックします。
3 反応がなくなったプログラムを選択します。
4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返し壊れる場合

メモ：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアル、フロッピーディスク、または CD に収録されています。

プログラムのマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアの製造元は、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に設計されているプログラムの場合

プログラム互換性ウィザードを実行します — Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3 画面の指示に従います。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーを押してもコンピュータが反応しない、または正常にコンピュータをシャットダウンできなくなった場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、再度電源ボタンを押して、コンピュータを再起動します。スタートアップ処理の間、CHKDSK が自動的に実行されます。画面の指示に従います。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるプログラムのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細について、そのプログラムの製造元に問い合わせます

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します — お使いのコンピュータに CD-RW ドライブが搭載されている場合、バックアップ作成の手順については、ドライブのマニュアルを参照してください。

入力したデータが間違っていないか確認します — プログラムのマニュアルを参照して、入力した値や文字が間違っていないか確認します。

ウイルスを調べます — アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます。

コンピュータを再起動します — 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、電源ボタンを押す代わりに **スタート** メニューからお使いのコンピュータをシャットダウンします。**スタート** メニューからシャットダウンしないと、データを損失する恐れがあります。

互換性を確認します

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応していて、コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します — 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

その他の技術的な問題

デルサポートウェブサイトにアクセスします — 一般的な使用方法、インストール、およびトラブルシューティングに関するご質問については **support.jp.dell.com** にアクセスします。サポートウェブサイトでは、問題解決に役立ついくつかのツールを提供しています。ウェブサイトの詳細については、13 ページの「デルサポートウェブサイト」を参照してください。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

デルへ電話で問い合わせます — デルサポートウェブサイトで問題が解決しない場合、デルテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください（123 ページ参照）。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

一般的なハードウェアの問題

お使いのコンピュータに以下の症状が 1 つでも表われる場合、デバイスのコンフリクトが発生している可能性があります。

- 特に、ある特定のデバイスを使うとコンピュータがロックアップする
- 最近取り付けたデバイスが機能しない
- サウンドカードから雑音が聞こえたり、その他の問題を示している
- プリンタの印字が文字化けしている
- マウスポインタが動かない、または動いてもスムーズに動かない
- コンピュータは最大性能で機能していません、という内容のメッセージが表示される
- 特別な理由もないのにエラーが発生したり、プログラムが壊れる
- モニターに何も表示されない

最近増設したハードウェアを取り外してコンフリクトが解決するか確認します — ハードウェアを取り外すとコンフリクトが解決する場合、設定とトラブルシューティング手順については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。それでも問題が解決しない場合は、ハードウェアの製造元にお問い合わせになり、テクニカルサポートを受けてください。

トラブルシューティングについては、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

IEEE 1394 デバイスの問題

メモ：Windows エクスプローラで、デバイスがドライブとして一覧に表示されているかどうか確認してください。

IEEE 1394 デバイスを確認します — IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS® が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
   IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デルから購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

デル以外から購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

コンピュータを再起動します

- マウスが機能している場合、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（28 ページ参照）。コンピュータがシャットダウンしたら、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。
- キーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、再度電源ボタンを押して、コンピュータを再起動します。

キーボードケーブルを確認します

- キーボードケーブルがしっかりとコンピュータに接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし（28 ページ参照）、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにキーボードケーブルを接続しなおした後、コンピュータを再起動します。
- 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外して、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したキーボードが機能する場合、最初に接続していたキーボードに問題があります。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

マウスの問題

コンピュータを再起動します

1 <Ctrl> <Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
3 コンピュータの電源が切れた後、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

コンピュータの電源を入れる前にマウスを接続した場合、マウスケーブルを接続しなおします

1 <Ctrl> <Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
3 コンピュータの電源が切れた後、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにマウスケーブルを接続しなおします。
4 コンピュータを起動します。

コンピュータの電源を入れた後にマウスを接続した場合、電源ケーブルを外して、マウスケーブルを接続しなおします — 電源を入れてからマウスを接続すると、マウスは機能しません。マウスの機能を回復するには …

1 コンピュータの電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンピュータの背面から外します。
2 マウスをコンピュータに接続します。
3 電源ケーブルを接続しなおします。
4 コンピュータの電源を入れます。

電源ボタンを押してもコンピュータの設定は解除されません。また、マウスの機能も回復しません。

マウスケーブルを確認します

- 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- ケーブルがしっかりとコンピュータに接続されているか確認します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したマウスが機能する場合、最初に接続していたマウスに問題があります。

マウスの設定を確認します

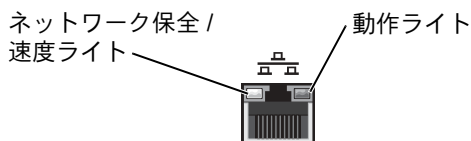
1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **マウス** をクリックします。
3 設定を調整してみます。

マウスドライバを再インストールします — 61 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

ネットワークの問題

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルがセットアップ図の指示通りに接続されているか確認します（14 ページ参照）。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、もう一度ネットワークにログオンしなおしてみます

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

電源の問題

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

電源オプションのプロパティの設定を調整します — お使いのコンピュータはスタンバイモードまたは休止状態モードに入っている可能性があります。省電力モードについては、『Dell Dimension ヘルプ』ファイルを参照するか、Windows® ヘルプで【スタンバイ】または【休止状態】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。スタンバイモードから通常の動作状態に戻すには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルが、コンピュータ背面の電源コネクタおよびコンセントの両方にしっかりと差し込まれているか確認します。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに差し込まれていて、電源タップに電源が入っているか確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。
- 電源保護装置、電源タップ、および電源延長ケーブルを取り外し、コンピュータの電源が入るか確認します。
- 主電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（81 ページ参照）。
- 正面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（81 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

電源ライトが橙色および緑色に点灯している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（81 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

電源ライトが橙色に点灯している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（81 ページ参照）。
- メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします（82 ページ参照）。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします（86 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

電源ライトが橙色に点滅している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- 主電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（81 ページ参照）。
- ビデオカードを取り付けている場合、取り外して取り付けなおします（90 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

電気的な妨害を調べます — コンピュータと同じ回路に接続しているか、近くで使用している電化製品が電気的な妨害の原因になることがあります。その他の原因には …

- 電源延長ケーブル
- キーボードおよびマウス延長ケーブル
- ひとつの電源タップに接続しているデバイスの数が多すぎる場合
- ひとつのコンセントに複数の電源タップが接続されている場合

プリンタの問題

メモ：デルではプリンタの保証はおこなっておりません。プリンタのテクニカルサポートについては、プリンタの製造元にお問い合わせください。プリンタのマニュアルを参照して、正しい電話番号を確認してください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているか確認します — 電源ボタンの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタケーブルの接続を確認します

- ケーブル接続の詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。

WINDOWS® がプリンタを認識しているか確認します

1 **スタート** ボタンをクリックします。
2 **コントロールパネル** をクリックします。
3 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
4 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。
プリンタが一覧に表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
5 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブを選択します。パラレルプリンタの場合、**印刷するポート** が **LPT1：プリンタポート** に設定されているか確認します。USB プリンタの場合、**印刷するポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

メモ：デルではスキャナーの保証はおこなっておりません。スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。スキャナーのマニュアルを参照して、正しい電話番号を確認してください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブル接続を確認します

- お使いのスキャナーに電源ケーブルが付いている場合、電源ケーブルがしっかりとコンセントに接続され、スキャナーの電源が入っているか確認します。
- スキャナーケーブルがコンピュータとスキャナーにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT® WINDOWS® がスキャナーを認識しているか確認します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3 **スキャナとカメラ** をクリックします。
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 再インストールの手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

メモ：コンピュータを最適な性能で使用するために、PCI サウンドカードは PCI スロット 3 または 4 のみに取り付けてください。

スピーカーから音がしない場合

メモ：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows® の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーのケーブル接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。お使いのスピーカーの音量を調節できる場合、音の歪みを解消するため、音量、低音、または高音の調節をします。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの正面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。

デジタルモードを有効にします — CD ドライブがアナログモードで動作している場合、お使いのスピーカーは機能しません。デジタルモードを有効にするには …

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
3 **ハードウェア** タブをクリックします。
4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
5 **プロパティ** タブをクリックします。
6 **この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスにチェックマークを付けます。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切って、干渉を調べます。

スピーカーの診断プログラムを実行します — スピーカーの中には、自己診断テストが含まれているものがあります。手順については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします — 61 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 66 ページを参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（71 ページ参照）。

デジタルモードを無効にします — CD ドライブがデジタルモードで動作している場合、お使いのヘッドフォンは機能しません。デジタルモードを無効にするには …

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
3 **ハードウェア** タブをクリックします。
4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
5 **プロパティ** タブをクリックします。
6 **この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスのチェックマークを外します。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

ビデオとモニターの問題

画面に何も表示されない場合

メモ：トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかり押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

モニターのケーブル接続を確認します — 曲がったり壊れたピンがないか、コネクタを確認します。（通常、モニターケーブルのコネクタには欠けているピンがあります。）ビデオケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。

電源ケーブルを交換します — コンピュータの電源ケーブルとモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。

ビデオ延長ケーブルを使用している場合、ケーブルを確認します — ビデオ延長ケーブルを取り外すと問題が解決する場合、ケーブルに問題があります。

別のモニターを確認します — 可能であれば、別のモニターをコンピュータに接続してみます。

診断ライトを確認します — 53 ページを参照してください。

画面が見づらい場合

モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニターから 60 cm 以上離れていることを確認します。

外部電源をモニターから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器により、画面の状態を不安定にすることがあります。電気的な妨害を調べるため、コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみます。

モニターの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

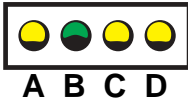
WINDOWS® の画面設定を調整します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
4 **画面の解像度** と **画面の色** の設定を変更します。

4

高度なトラブルシューティング

診断ライト

コンピュータの背面パネルには、それぞれ「A」「B」「C」「D」とラベルが付いた 4 つのライトがあり、問題のトラブルシューティングに役立ちます（73 ページ参照）。これらのライトは、黄色または緑色に点灯します。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了したら、4 つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色と順番で問題を特定することができます。

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
A B C D	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS に障害が起こっている可能性があります。	コンピュータが機能しているコンセントに接続され、電源ボタンを押していることを確認します。
	プロセッサに障害が起こっている可能性があります。	プロセッサを取り付けなおして（104 ページ参照）、コンピュータを再起動します。

= 黄色

= 緑色

= オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
A B C D	メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生しています。	**1** メモリモジュールを取り付けなおします（82 ページ参照）。 **2** すべてのコネクタタブがロックされていることを確認します。 **3** コンピュータを再起動します。 **4** 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。
A B C D	拡張カードに障害が起こっている可能性があります。	**1** カード（ビデオカードではない）を取り外し（86 ページ参照）、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。 **2** 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 **3** 各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングをおこないます（66 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照）。 **4** 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

= 黄色
= 緑色
= オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
	ビデオカードに障害が起こっている可能性があります。	• コンピュータにビデオカードを取り付けている場合、カードを取り外し（90 ページ参照）、取り付けなおして、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しない場合、正常に機能しているビデオカードを取り付け、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しない場合、またはビデオがコンピュータに内蔵されている場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。
	フロッピードライブまたはハードドライブに障害が起こっている可能性があります。	すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。
	USB に障害が起こっている可能性があります。	すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。
	メモリモジュールが検出されませんでした。	**1** メモリモジュールを取り付けなおします（82 ページ参照）。 **2** すべてのコネクタタブがロックされていることを確認します。 **3** コンピュータを再起動します。 **4** 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

= 黄色

= 緑色

= オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
	メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。	• 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないか確認します（82 ページ参照）。 • 取り付けるメモリモジュールがコンピュータと互換性があるか確認します（82 ページ参照）。 • 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。
	システム基板リソース障害またはハードウェア障害が起こっている可能性があります。	66 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。
	拡張カードに障害が起こっている可能性があります。	**1** カード（ビデオカードではない）を取り外し（86 ページ参照）、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。 **2** 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 **3** 各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングをおこないます（66 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照）。 **4** 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

= 黄色

= 緑色

= オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
	その他の障害が発生しました。	• ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します（81 ページ参照）。 • 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。
	POST 後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	特にありません。

= 黄色

= 緑色

= オフ

Dell Diagnostics（診断）プログラム

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用するとき

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」（31 ページ参照）のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行することによって、デルに問い合わせをしなくても問題を解決できる場合があります。デルにお問い合わせになる場合、テストの結果はデルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、以下のことが可能です。

- 1 つまたはすべてのデバイスのテストの実行
- 発生している問題の症状に基づいたテストの選択
- テストが実行される回数の選択
- エラーが検出された場合のテストの中断
- テストとデバイスについて説明したヘルプ情報へのアクセス
- テストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 問題が検出された場合のエラーメッセージの表示

Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

注意：Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ専用です。このプログラムを別のコンピュータで使用すると、エラーメッセージが表示されます。

ハードドライブ（58 ページ参照）または『Dell Dimension ResourceCD』（58 ページ参照）から Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。

ハードドライブからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1 コンピュータをシャットダウンして（28 ページ参照）、再起動します。

2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ：Diagnostics（診断）プログラムユーティリティパーティションが検出されませんというメッセージが表示された場合、Dell Diagnostics（診断）プログラムを『ResourceCD』から実行します（58 ページ参照）。

ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

4 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます（59 ページ参照）。

ResourceCD からの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1 『ResourceCD』を挿入します。

2 コンピュータをシャットダウンして（28 ページ参照）、再起動します。

DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて、Windows のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

メモ：この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**IDE CD-ROM Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

4 CD の起動メニューから **IDE CD-ROM Device** オプションを選びます。

5 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選びます。

6 1 と入力して『ResourceCD』のメニューを起動します。

7 2 と入力して Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。

8 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選びます。複数のバージョンが表示されている場合、お使いのコンピュータに該当するバージョンを選びます。

9 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます（59 ページ参照）。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常、このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

2 テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録して、画面の指示に従います。

エラーが解決できない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の一番上にあります。デルにお問い合わせになる場合、テクニカルサポートがお客様のサービスタグナンバーをお尋ねします。

3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧にその情報を表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4 『ResourceCD』からDell Diagnostics（診断）プログラムを実行している場合、テストが終了したら、CD を取り出します。

5 テスト画面を閉じ、**Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされていますので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

注意：『Dell Dimension ResourceCD』には、お使いのコンピュータにインストールされていないオペレーティングシステムのドライバが収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

3 **システム** をクリックします。

4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。

5 **デバイスマネージャ** をクリックします。

6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 （［！］の付いた黄色い丸）が付いているものがないかを確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（62 ページ参照）。

ドライバの再インストール

注意：デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** および 『Dell Dimension ResourceCD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP のデバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** をクリックします。
6. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
7. **ドライバ** タブをクリックします。
8. **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元 （64 ページ参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。

『ResourceCD』の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元（64 ページ参照）で問題を解決できない場合、『ResourceCD』からドライバを再インストールします。

1 Windows のデスクトップ画面で、『ResourceCD』を挿入します。

   初めて『ResourceCD』をお使いになる場合、手順 2 へ進みます。それ以外の場合、手順 5 へ進みます。

2 **ResourceCD Installation** プログラムが起動したら、**OK** をクリックし、プログラムをインストールして、画面の指示に従います。

3 **InstallShield ウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、『ResourceCD』を取り出し、**完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

4 Windows のデスクトップが表示されたら、『ResourceCD』を再度挿入します。

5 **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。** 画面で、**次へ** をクリックします。

   メモ：『ResourceCD』には、工場出荷時にデルがプリインストールしたハードウェアのドライバのみが表示されます。新たにハードウェアを取り付けた場合、この新しいハードウェアのドライバは『ResourceCD』には表示されません。その場合、『ResourceCD』プログラムを閉じます。ドライバについては、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

   『ResourceCD』がコンピュータのハードウェアを検出中というメッセージが表示されます。

   コンピュータで使用されているドライバが、自動的にメッセージウィンドウに表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックして、画面の指示に従います。

ドライバが一覧にない場合、そのドライバはお使いのオペレーティングシステムに必要ありません。

Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

注意：データファイルのバックアップを定期的に作成しましょう。システムの復元は、データファイルを監視したり、復元することはできません。

復元ポイントの作成

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

2 **システムの復元** をクリックします。

3 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、問題を解決するには、デバイスドライバのロールバック（62 ページ参照）を使用します。失敗した場合、システムの復元を使用します。

注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。

2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。

3 コンピュータを復元するカレンダーの日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを表示して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントを使用できる日付は、すべて太字で表示されます。

4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更する場合、別の復元ポイントを使用して手順を繰り返したり、復元を元に戻すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

3 **次へ** をクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

4 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

3 **システム** をクリックします。

4 **システムの復元** タブをクリックします。

5 **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、Windows XP の IRQ コンフリクトが発生しています。

Windows XP を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル**をクリックします。
2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4 **デバイスマネージャ** の一覧で、他のデバイスとのコンフリクトを調べます。

   コンフリクトの起こっているデバイスの横には黄色の感嘆符（!）が付いていますので、コンフリクトが確認できます。赤色の x 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

5 コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。

   IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有しているカードまたはデバイスが表示されます。

6 **デバイスマネージャ** からデバイスを再設定または削除して、コンフリクトを解消します。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

はじめに

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、まず最初に Windows XP のデバイスドライバのロールバック（62 ページ参照）を使います。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元（64 ページ参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

注意：この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。通常のハードドライブ構成では、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™『オペレーティングシステム CD』
- Dell『ResourceCD』

メモ：『ResourceCD』には、コンピュータの製造過程でプリインストールされたドライバが収録されています。『ResourceCD』を使って、必要なすべてのドライバをロードします。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項で記載されている手順を順番通りに実行します。

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間程かかります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意：『オペレーティングシステム CD』では、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

注意：Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。`Install Windows XP` というメッセージが表示された場合、**終了** をクリックします。
3 コンピュータを再起動します。
4 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選び、<Enter> を押します。
6 `Press any key to boot from CD` というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押して続行します。
2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、<F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
3 お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、`r` と入力して修復オプションを選び、CD を取り出します。
4 新たに Windows XP をインストールする場合、<Esc> を押してオプションを選択します。
5 <Enter> を押してハイライト表示されたパーティションを選び（推奨）、画面の指示に従います。

   Windows XP セットアップ 画面が表示され、オペレーティングシステムは、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータが数回自動的に再起動します。

メモ：ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は異なります。

注意：`Press any key to boot from the CD` というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、お住まいの地域の設定を選択して、**次へ** をクリックします。

7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。

8 Windows XP Home Edition を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力（または記載の名前を承認）して、**次へ** をクリックします。

Windows XP Professional を再インストールする場合、**コンピュータ名と Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。

9 **モデムのダイヤル情報** 画面が表示されたら、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。

10 **日付と時刻の設定** ウィンドウに日付と時刻を入力して、**次へ** をクリックします。

11 **ネットワークの設定** 画面が表示されたら、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。

12 Windows XP Professional を再インストールし、ネットワーク設定に関するネットワーク情報を入力するよう求められた場合、ご自分の設定を入力します。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選びます。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールして、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動します。

注意：`Press any key to boot from the CD` というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

14 **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。

15 **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選んでから、**次へ** をクリックします。

16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、5 名までユーザーを入力できます。

17 **次へ** をクリックします。

18 **完了** をクリックし、セットアップを完了して、CD を取り出します。

19 『ResourceCD』を使って、適切なドライバを再インストールします。

20 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。

21 使用するプログラムを再インストールします。

メモ：Microsoft Office または Microsoft Works Suite プログラムを再インストールして有効にするには、Microsoft Office または Microsoft Works Suite の CD ケースの裏面にある Product Key（プロダクトキー）ナンバーが必要です。

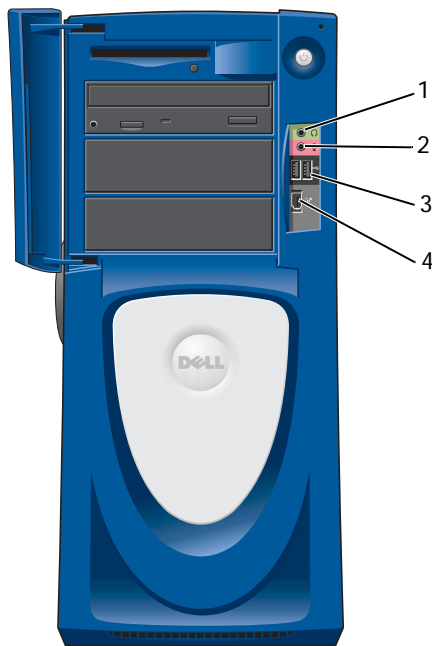
5

部品の拡張および交換

コンピュータの正面および背面

正面図

1	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み取る、または書き込む際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作中にも点灯します。
2	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータの電源を入れます。 **注意：**データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® のシャットダウンを実行してください。
3	ドライブドア	ドライブドアを開いて、フロッピードライブおよび CD/DVD ドライブにアクセスします。
4	正面パネルドア	正面パネルのコネクタを使用するときにドアを開きます。

正面図（ドアを開いた状態）

1	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンまたはスピーカーをヘッドフォンコネクタに接続して、CD プレーヤーおよびビープ音などのシステム音を含むすべての音を聞くことができます。
2	マイクコネクタ	マイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続して、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
3	USB 2.0 コネクタ（2）	ジョイスティックまたはカメラなど時々接続するデバイスは、正面の USB コネクタを使用します。 プリンタおよびキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
4	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。

背面図

1	プロセッサファン（2）	最適な冷却のため、2 つのプロセッサファンが搭載されています。通気孔をふさがないでください。
2	カバーリリースラッチ	コンピュータを開くには、カバーリリースラッチが上になるようにコンピュータを横に倒して、ラッチを左に押します。78 ページの「コンピュータカバーを開く」を参照してください。
3	VGA ビデオコネクタ	お使いのモニターに DVI コネクタがある場合、モニターケーブルをコンピュータの DVI コネクタに接続します。お使いのモニターに VGA コネクタがある場合、モニターケーブルをコンピュータの VGA コネクタに接続します。
4	セキュリティケーブルスロット	スロットとセキュリティケーブルを使用して、コンピュータの安全性を保ちます。
5	パドロックリング	パドロックを挿入して、コンピュータカバーをロックします。
6	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
7	電源装置ファン	最適な冷却のため、2 つの電源装置ファンが搭載されています。通気孔をふさがないでください。
8	カードスロット	取り付けられているすべての PCI カード（4 スロット）および AGP カード（1 スロット）コネクタにアクセスします。
9	PCI サウンドカード（IEEE 1394 内蔵）	• ライン入力コネクタ — 青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。 • マイクコネクタ — ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続して、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 • ライン出力コネクタ — 緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 • サラウンドコネクタ — 黒色のサラウンドコネクタを使用して、マルチチャネル対応スピーカーを取り付けます。 • センター /LFE コネクタ — 黄色のセンター / LFE コネクタを使用して、お使いのサブウーハーを接続します。 • IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。 **メモ：**コンピュータを最適な性能で使用するために、PCI サウンドカードは PCI スロット 3 または 4 のみに取り付けてください。
10	モデムコネクタ	モデムをお持ちの場合、電話線をモデムコネクタ（オプション）に接続します。 **メモ：**コンピュータを最適な性能で使用するために、モデムカードは PCI スロット 2、3、または 4 のみに取り付けてください。
11	DVI ビデオコネクタ	お使いのモニターに DVI コネクタがある場合、モニターケーブルをコンピュータの DVI コネクタに接続します。お使いのモニターに VGA コネクタがある場合、モニターケーブルをコンピュータの VGA コネクタに接続します。

12	ネットワークアダプタコネクタ	コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに取り付けるには、ネットワークケーブルの片方の端をネットワークジャックやネットワーク / ブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう片方の端を、コンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。インジケータにカチッと収まるまで、ネットワークケーブルをしっかりと接続します。 ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。 カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。 ネットワークまたは ブロードバンドジャック
13	USB 2.0 コネクタ（6）	プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど時々接続するデバイスは、正面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
14	キーボードコネクタ	標準型キーボードを使用している場合、紫色のキーボードコネクタに差し込みます。USB キーボードを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
15	マウスコネクタ	標準型マウスを使用している場合、緑色のマウスコネクタにマウスケーブルを差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
16	診断ライト（4）	診断ライトは、Diagnostic（診断）コードに基づき、コンピュータの問題を解決するのに役立ちます。詳細については、53 ページの「診断ライト」を参照してください。
17	シリアルコネクタ（COM 2）	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。
18	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタをお使いの場合、USB コネクタに差し込みます。
19	シリアルコネクタ（COM 1）	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。

はじめに

この項では、コンピュータのコンポーネントの取り外しおよび取り付けについて説明します。特に記載のない限り、各手順において以下の項目を完了している事を前提とします。

- 「作業にあたっての注意」の手順を完了している（76 ページ参照）
- 9 ページの安全にお使いいただくための注意事項を読み終えている
- コンピュータカバーを開いている

推奨ツール

お使いのコンピュータは本来ツールを必要としませんが、特定の手順では（ヒートシンクブロアまたはコントロールパネルの取り外しなど）、1 つまたは複数のツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバ
- 1 番と 2 番のプラスドライバ
- 8 インチの 2 番のプラスドライバ

「作業にあたっての注意」（76 ページ参照）で説明している帯電防止用リストストラップの使用をお勧めします。

作業にあたっての注意

コンピュータへの損傷を防ぎ、ご自身を危険から守るため、次の安全に関する注意事項に従ってください。

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：お使いのオンラインの Dell™ マニュアル、またはデルより別途提供されたマニュアルで説明されている場合を除き、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順や作業の手順には厳密に従ってください。

注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切って電源ケーブルを抜いた後 5 秒ほど待ってから（またはスタンバイライトが消えるのを待って）、システム基板からコンポーネントを取り外したり、コンピュータからデバイスを取り外してください。

コンピュータの作業を始める前に、次の手順を順番どおりに実行します。

1 コンピュータを **スタート** メニューからシャットダウンします。

2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。

注意：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。

4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れて、静電気による内部コンポーネントの損傷を防止します。

さらに、必要に応じて次の点にも注意してください。

- ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。

- 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カードに接続している部品やカードとの接点には触れないでください。カードの縁か金属製の取り付けブラケットを持ってください。プロセッサチップなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

静電気障害への対処

静電気はコンピュータ内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、プロセッサなど、お使いのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

コンピュータ内部の作業を続けておこなう場合、定期的にシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順もお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまで、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品は静電気防止梱包材に入れて運びます。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない安全な場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

コンピュータカバーを開く

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 背面パネルのパドロックリングにパドロックを挿入している場合、パドロックを取り外します。

注意：開いたカバーを置いておくための十分なスペースがあるか確認します。机上に 30 cm 以上のスペースが必要です。

注意：コンピュータカバーを開く際に、ケーブルをシステム基板から誤って外してしまうことがないよう注意してください。

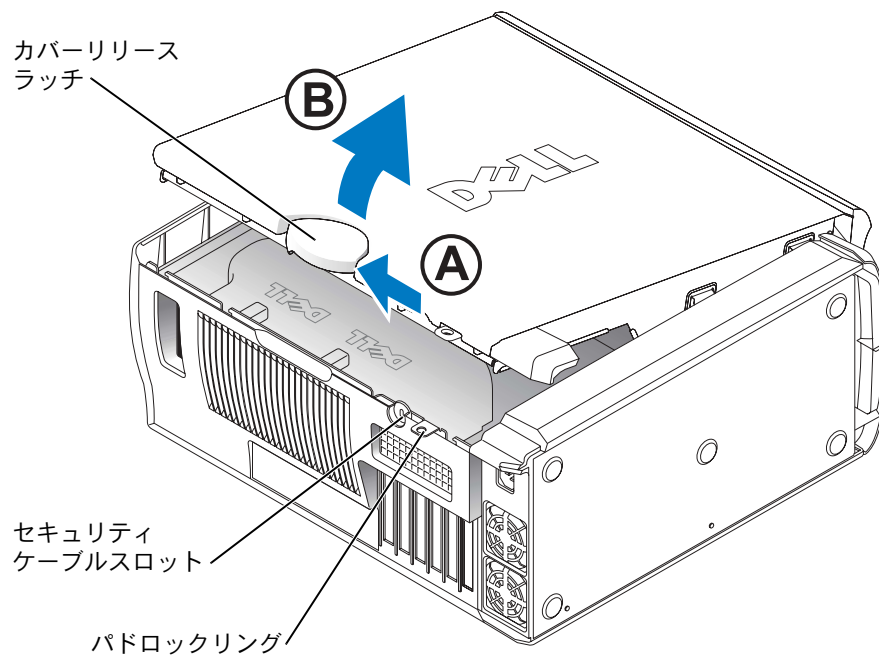
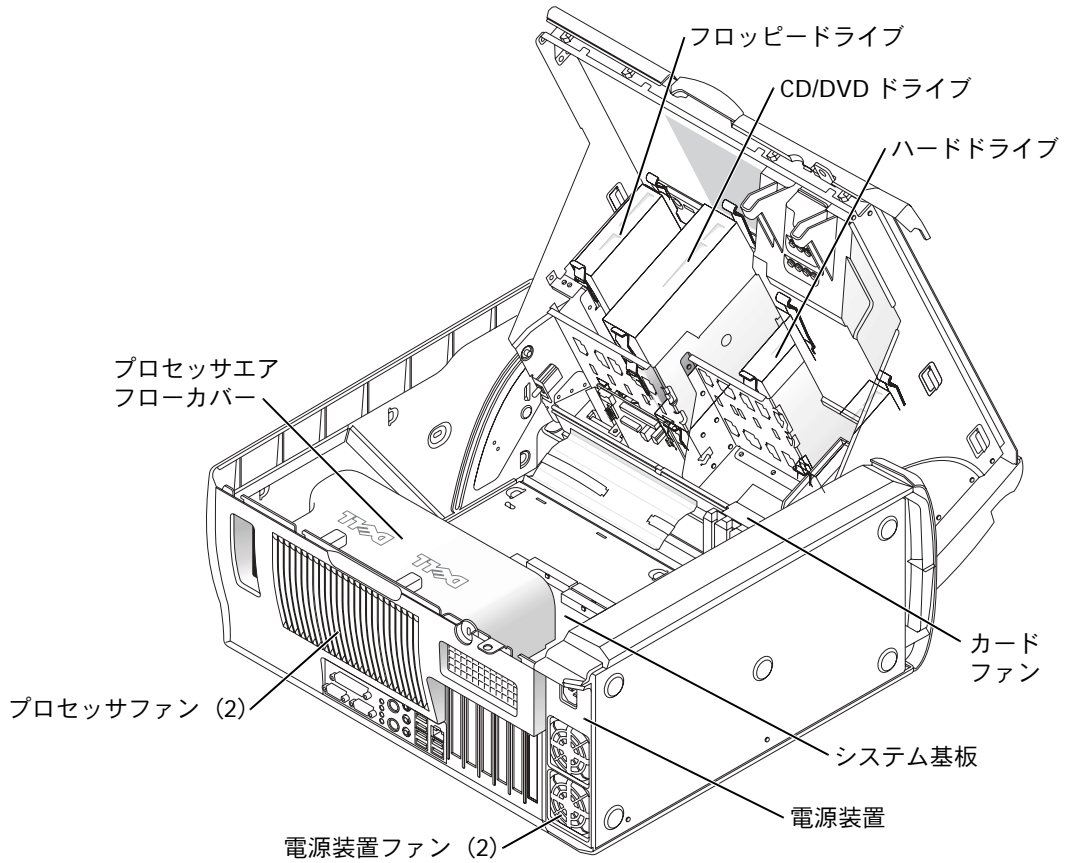
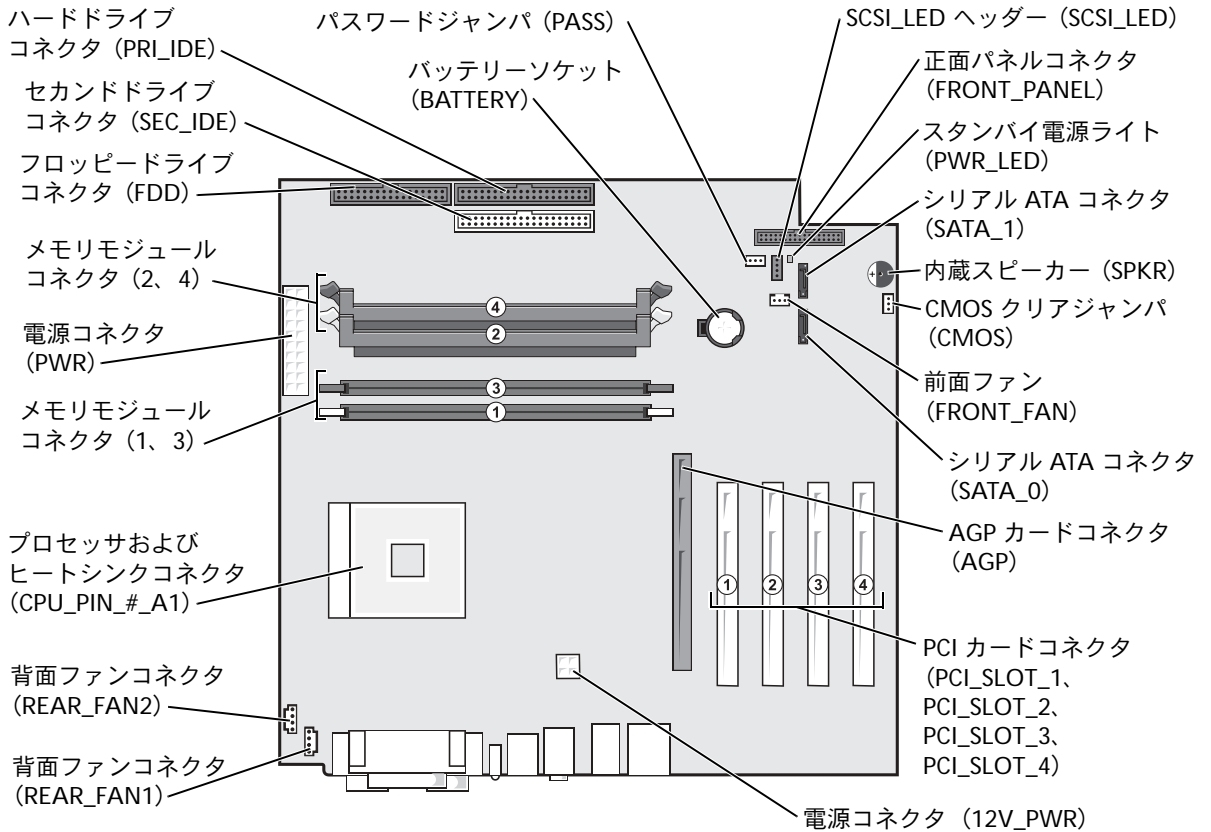
3 次の図のように、カバーリリースラッチが上になるようにコンピュータを横に倒します。

4 コンピュータカバーを開きます。

a カバーリリースラッチをコンピュータの上部側にスライドします。

b カバーを持ち上げて、コンピュータの正面側に開きます。

コンピュータの内部

フロッピードライブ
CD/DVD ドライブ
ハードドライブ
プロセッサエア
フローカバー
カード
ファン
プロセッサファン（2）
システム基板
電源装置
電源装置ファン（2）

システム基板のコンポーネント

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けることにより、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、115 ページの「メモリ」を参照してください。

メモ：FSB 800 MHz プロセッサで使用すると、DDR 333 メモリは 320 MHz で動作します。

DDR メモリの概要

DDR メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。つまり、256 MB のメモリ搭載のコンピュータをご購入になり、新たに 256 MB のメモリを増設する場合、適切なコネクタに装着する必要があります。DDR メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し落ちます。

メモ：必ず、システム基板に示されている順番で DDR メモリモジュールを装着してください。

推奨されるメモリ構成は、以下のとおりです。

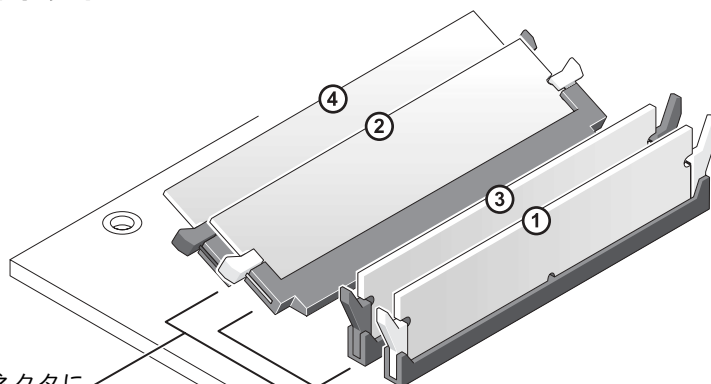
- 同じ容量を持つメモリモジュールのペアをコネクタ DIMM1 および DIMM2 に装着

  または

- 同じ容量を持つメモリモジュールのペアをコネクタ DIMM1 および DIMM2 に装着し、コネクタ DIMM3 および DIMM4 に別のペアを装着

メモリ増設時の注意事項は、以下のとおりです。

- ECC メモリモジュールを装着しないでください。
- 別のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、DIMM 1 またはプロセッサに最も近いコネクタに単一メモリモジュールを装着していることを確認してください。

メモリの取り付けガイドライン

注意：メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになった場合でも、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してください。元のメモリモジュールは、コネクタ DIMM1 と DIMM2、または DIMM3 と DIMM4 にペアで装着します。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。元のメモリモジュールと新しいものをペアにすると、コンピュータが最適な性能で機能しないことがあります。

メモ：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象に含まれています。

メモリの取り付け

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

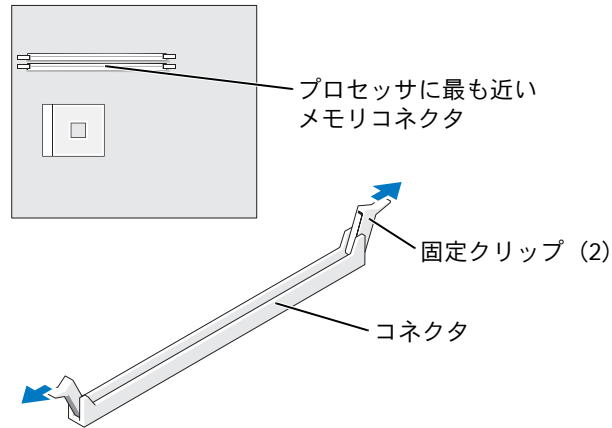
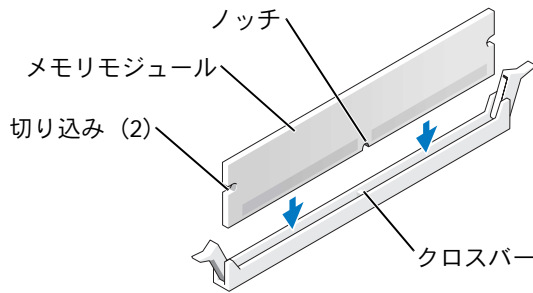
3 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。

4 必要に応じて、メモリモジュールを取り外します。

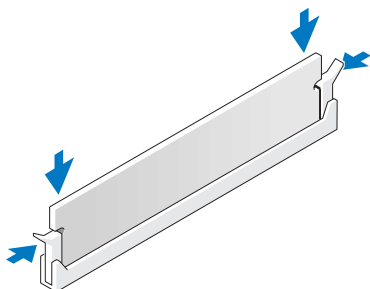
a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。

b モジュールをつかみ、引き出します。

モジュールが取り外しにくい場合は、軽くモジュールを前後に動かしてコネクタから取り外しやすくします。

5 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開き、モジュールを挿入します。

6 メモリモジュールの底部にあるノッチと、コネクタのクロスバーを合わせます。

注意：メモリモジュールの損傷を防ぐため、モジュールの中心部分を押さないでください。

7 コネクタの両側にある垂直ガイドに合うように、メモリモジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。メモリモジュールを、カチッと所定の位置に収まるまでしっかりと押し込みます。

メモリモジュールが正しく装着されると、固定クリップがカチッとメモリモジュールの両端にある切り込みに収まります。

8 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

10 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

11 **全般** タブをクリックします。

12 表示されているメモリ（RAM）の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

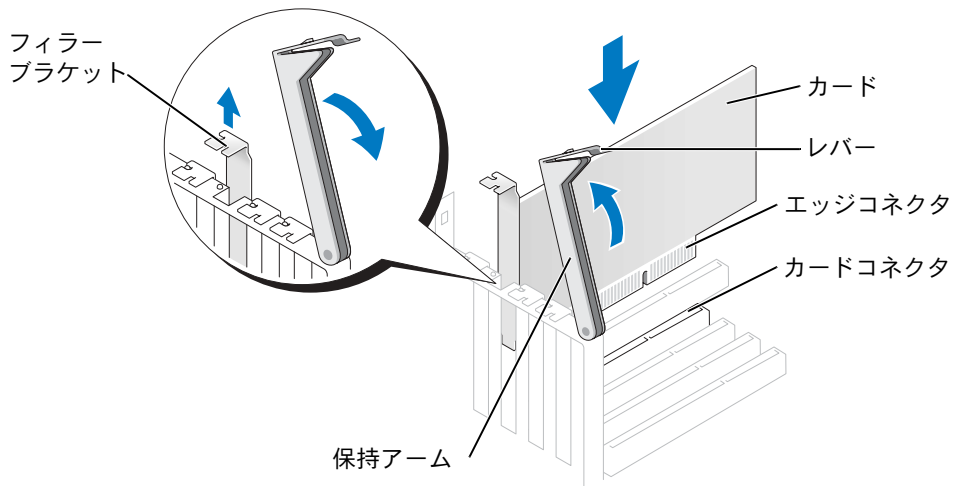
PCI カード

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

お使いの Dell™ コンピュータは 4 枚までの 32 ビット / 33 MHz のカード用スロットが搭載されています。詳細については、115 ページの「仕様」を参照してください。

メモ：コンピュータを最適な性能で使用するために、PCI サウンドカードは PCI スロット 3 または 4 のみに取り付けてください。また、モデムカードは PCI スロット 2、3、または 4 のみに取り付けてください。

PCI カードの取り付け

1. カードを交換する場合、取り外すカード用のドライバをオペレーティングシステムから削除します。
2. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
3. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
4. カード保持アームのレバーを押して、保持アームを持ち上げます。

5 新しいカードを取り付ける場合、フィラーブラケットを取り外して、カードスロットを空にします。次に、手順 7 へ進みます。

6 コンピュータに取り付けられているカードを交換する場合、カードを取り外します（89 ページ参照）。

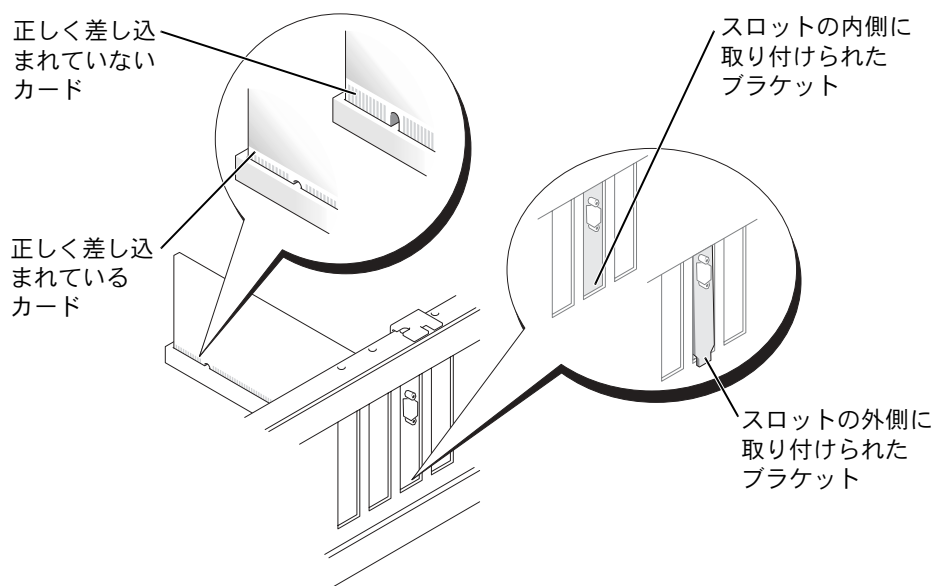
必要に応じて、カードに接続されているすべてのケーブルを外します。カードの上端の角を両手でつかみ、コネクタから取り外します。

7 取り付けるカードを用意します。

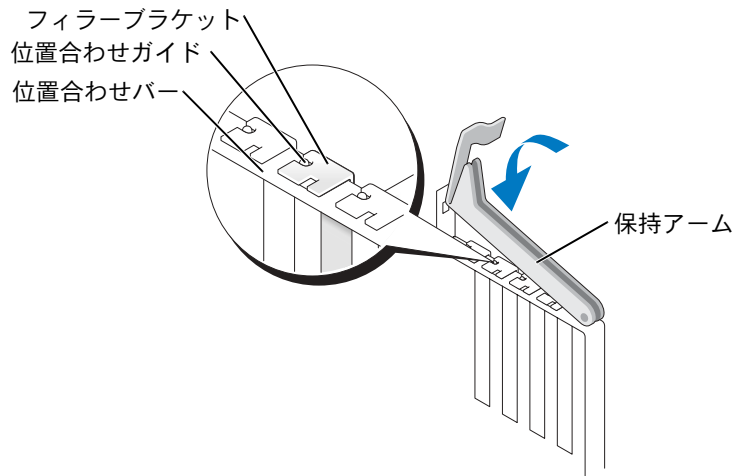
カードの設定、内部の接続、またはお使いのコンピュータに合わせたカードのカスタマイズの情報については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

8 カードをコネクタに置いて、しっかりと押し下げます。カードがスロットの所定の位置に完全に装着されていることを確認します。

カードがフルレングスの場合、システム基板にあるカードコネクタの方にカードを下げて、カードの端をカードガイドブラケットに挿入します。カードをシステム基板のカードコネクタにしっかりと挿入します。

9 以下を確認してから、保持アームを下ろします。

- すべてのカード上部とフィラーブラケットの高さが、位置合わせバーと同じ高さに揃っている
- カード上部のノッチまたはフィラーブラケットが、位置合わせガイドと揃っている

10 保持アームを所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

注意：カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上を通して配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなくなったり、装置に損傷を与える恐れがあります。

11 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードのマニュアルを参照してください。

12 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

13 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

14 カードのマニュアルにある説明に従い、必要なドライバをすべてインストールします。

PCI カードの取り外し

1. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
3. カード保持アームのレバーを押して、保持アームを持ち上げます。
4. 必要に応じて、カードに接続されているすべてのケーブルを外します。
5. カードの上端の角を両手でつかみ、コネクタから取り外します。
6. カードを取り外したままにする場合、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。

   フィラーブラケットが必要な場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

メモ：コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

7. 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。
8. コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9. コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
10. カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

AGP カード

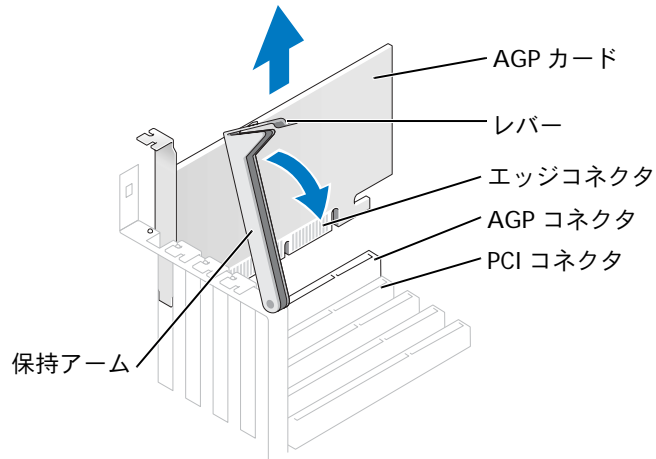
⚠ **警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。**

お使いの Dell™ コンピュータには、AGP カード用のコネクタが搭載されています。

AGP カードの取り外し

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

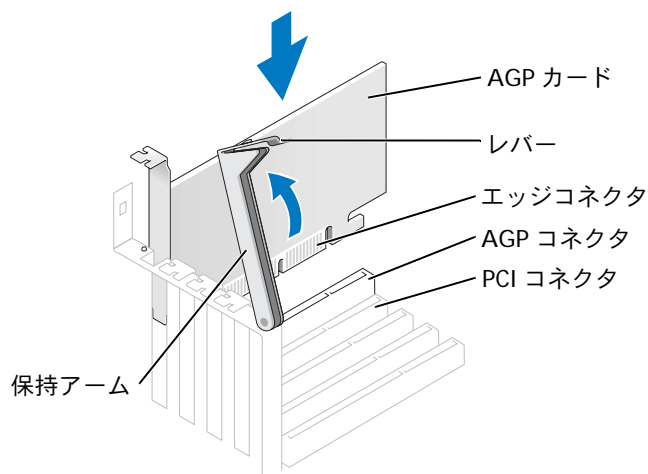
2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 カード保持アームのレバーを押し、保持アームを持ち上げます。

4 カードを引き上げてカードクリップから取り出します。

AGP カードの取り付け

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 カード保持アームのレバーを押して、保持アームを持ち上げます。

4 所定の位置にカチッと収まるまで AGP カードをコネクタに押して、タブがカード前面の端にあるノッチと合っているか確認します。

5 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

6 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

7 モニターケーブルをカードのビデオコネクタに接続します。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

8 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

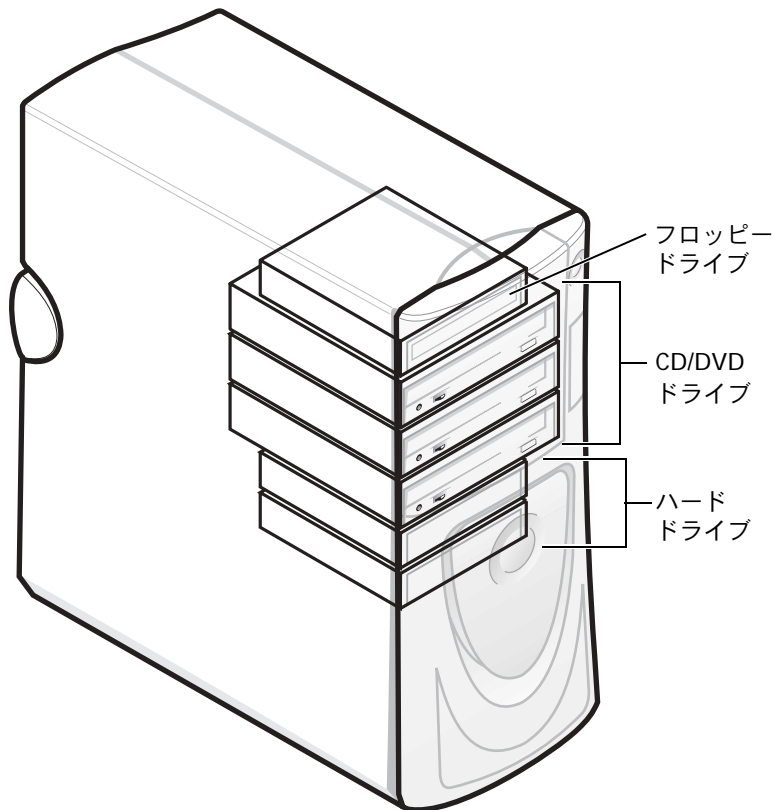
ドライブ

概要

お使いのコンピュータは､1 台のフロッピードライブと以下の 4 台のドライブの組み合わせに対応しています。

- 2 台の IDE ハードドライブと 2 台のシリアル ATA ハードドライブ
- 2 台の CD ドライブまたは DVD ドライブ

お使いのコンピュータは、以下のドライブの組み合わせにも対応しています。

- RAID レベル 0 または RAID レベル 1 構成の 2 台のシリアル ATA ドライブ
- 1 台の IDE ハードドライブ
- 2 台の CD ドライブまたは DVD ドライブ

ハードドライブ

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

ハードドライブの取り外し

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

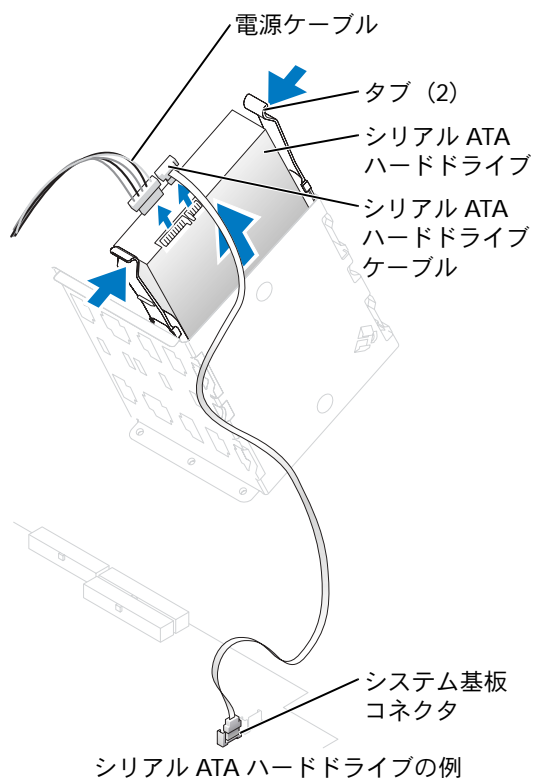
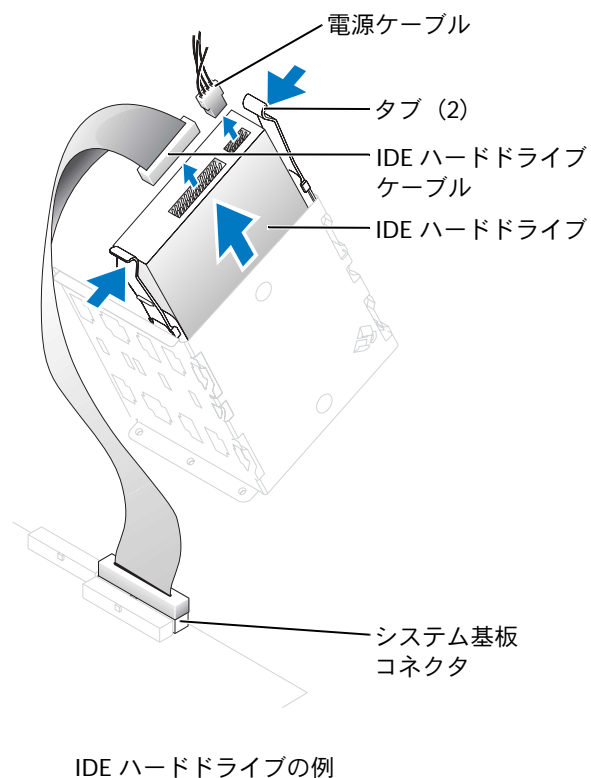
2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから取り外します。

電源ケーブル
タブ（2）
IDE ハードドライブケーブル
IDE ハードドライブ
システム基板コネクタ

IDE ハードドライブの例

電源ケーブル
タブ（2）
シリアル ATA ハードドライブ
シリアル ATA ハードドライブケーブル
システム基板コネクタ

シリアル ATA ハードドライブの例

4 ドライブの両側のタブを押し込み、ドライブを上にスライドして取り外します。

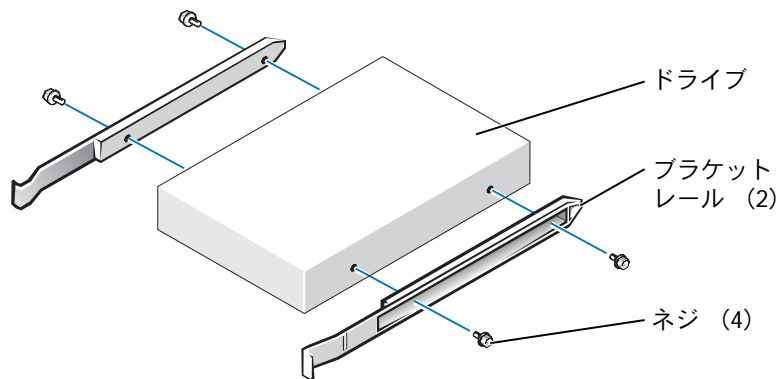
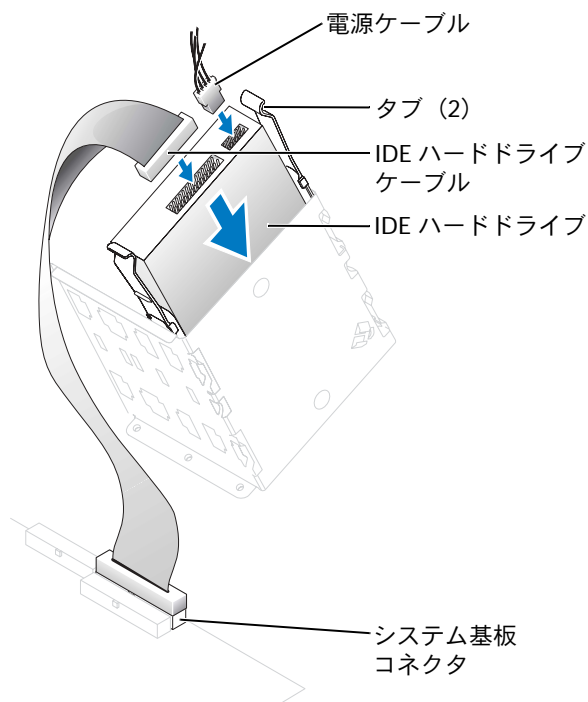
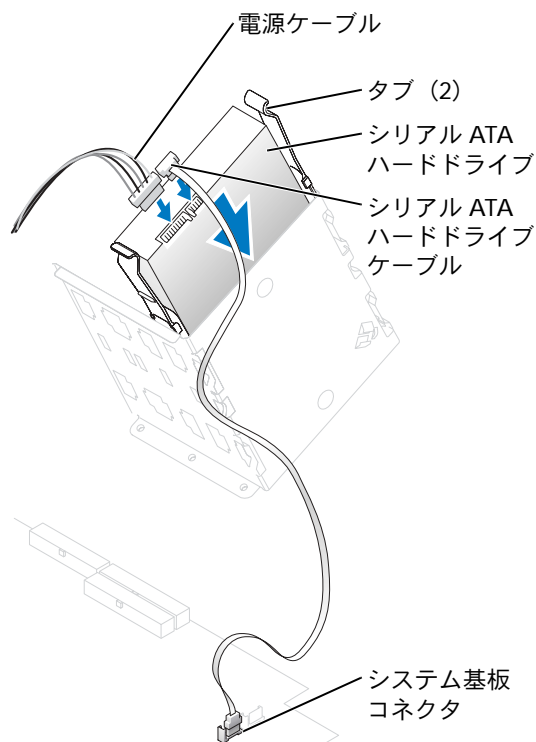
ハードドライブの取り付け

1 交換用のハードドライブを梱包から取り出して、取り付けの準備をします。

2 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータ用に設定されているか確認します。

3 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

4 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

5 交換するハードドライブにブラケットレールが付いていない場合、各レールをドライブに固定している 2 本のネジを外して、レールを古いドライブから取り外します。ドライブのネジ穴とブラケットレールのネジ穴を合わせ、次に 4 本のネジ（各レールに 2 本）を差し込んでからすべて締めて、ブラケットレールを新しいドライブに取り付けます。

6 ハードドライブが所定の位置にカチッと収まるまで慎重に押し込んで、ハードドライブをコンピュータに取り付けます。

7 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブに接続します。

8 すべてのコネクタが正しく接続され、しっかり固定されているか確認します。

9 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意： ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

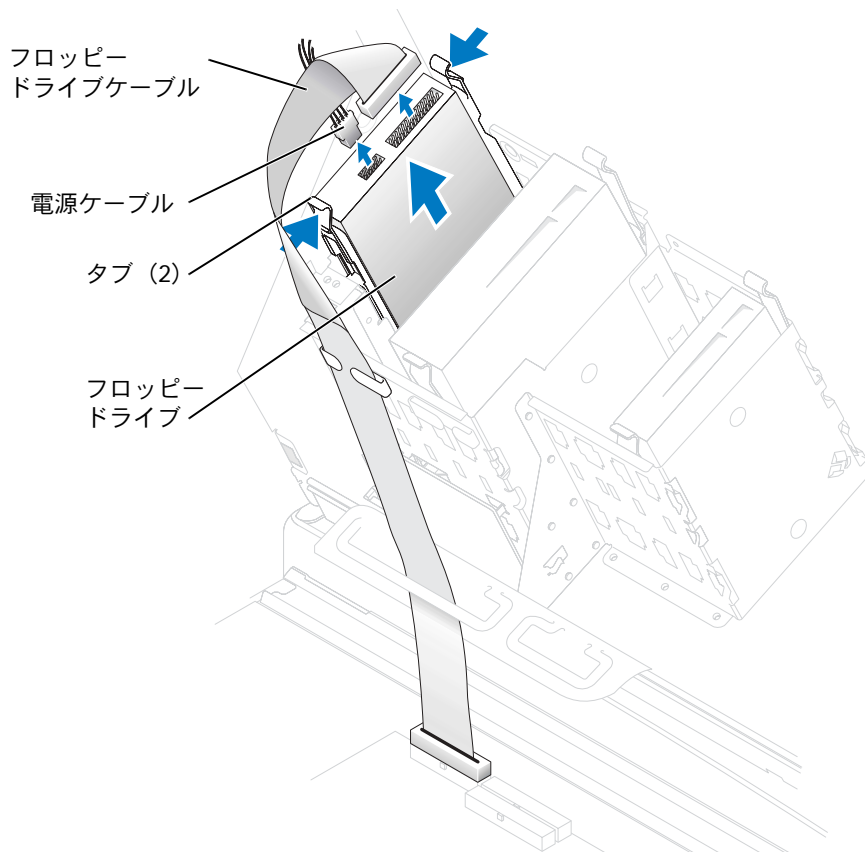
10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアのインストール手順については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。

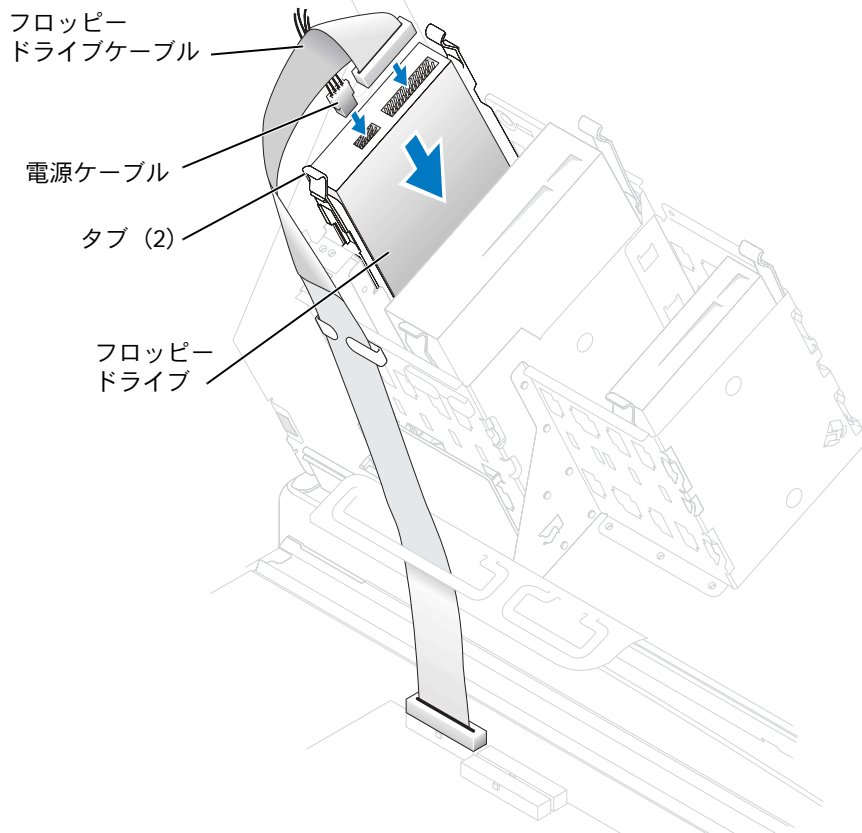
フロッピードライブ

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

フロッピードライブの取り外し

1. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
3. 電源ケーブルとフロッピードライブケーブルをフロッピードライブの背面から取り外します。

4. ドライブの両側にある 2 つのタブを内側へ押し込み、ドライブを上へスライドして、フロッピードライブベイから取り外します。

フロッピードライブの取り付け

1. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
3. ドライブを交換する際、新しいドライブにブラケットレールが付いていない場合、各レールをドライブに固定している 2 本のネジを外して、レールを古いドライブから取り外します。ドライブのネジ穴とブラケットレールのネジ穴を合わせ、次に 4 本のネジ（各レールに 2 本）を差し込んでからすべて締めて、ブラケットを新しいドライブに取り付けます。94 ページの図を参照してください。
4. タブが所定の位置にカチッと収まるまで、慎重にドライブを所定の位置にスライドします。

5 電源ケーブルとフロッピードライブケーブルをフロッピードライブに取り付けます。

6 新しいフロッピードライブを取り付ける場合（交換ではなく）、ドライブベイカバーを取り外します。

ドライブベイの内側から、ドライブベイカバーの両端を軽く押してドライブを取り出します。

7 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。

8 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアのインストール手順については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。

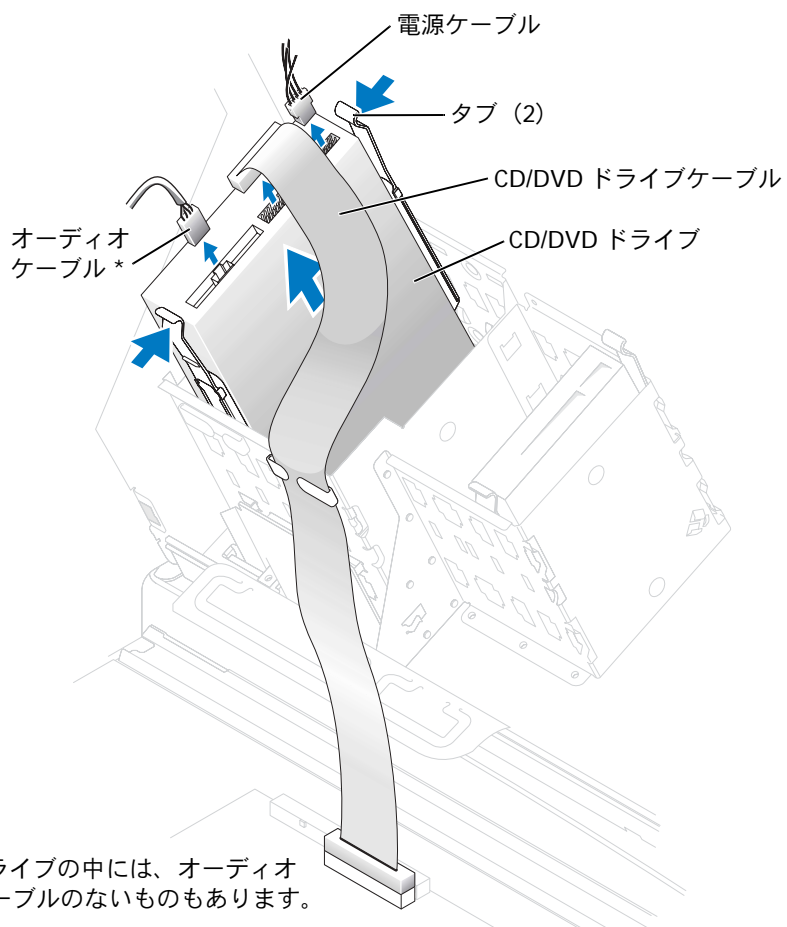
CD/DVD ドライブ

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

CD/DVD ドライブの取り外し

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルをドライブの背面から取り外します。

4 ドライブの両側にある 2 個のタブを内側へ押し込み、ドライブを上へスライドしてドライブベイから取り外します。

CD/DVD ドライブの取り付け

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

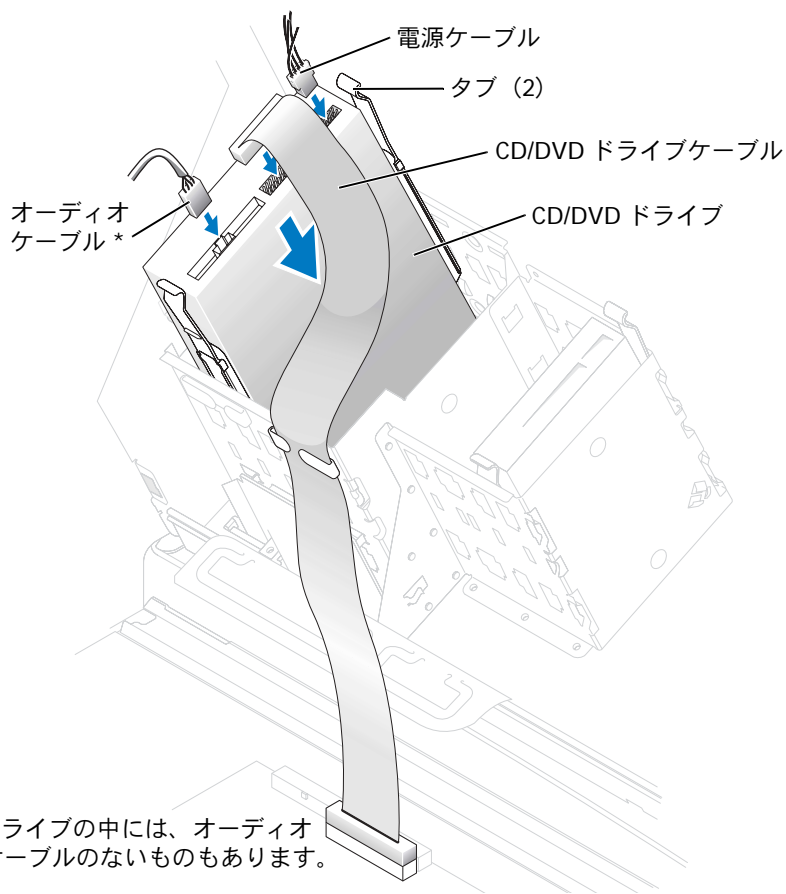
2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 新しいドライブを取り付ける場合、ドライブを梱包から出し、取り付けの準備をします。

   ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータ用に設定されているか確認します。IDE ドライブを取り付ける場合、ドライブを 「Cable Select」に設定します。

4 新しいドライブをカバーの内側に取り付けてあるレールに接続します。レールがカバーの内側に取り付けられていない場合、デルにお問い合わせください（123 ページ参照）。

5 ドライブを交換する際、新しいドライブにブラケットレールが付いていない場合、各レールをドライブに固定している 2 本のネジを外して、レールを古いドライブから取り外します。ドライブのネジ穴とブラケットレールのネジ穴を合わせ、次に 4 本のネジ （各レールに 2 本）を差し込んでからすべて締めて、ブラケットを新しいドライブに取り付けます。94 ページの図を参照してください。

6 タブが所定の位置にカチッと収まるまで、慎重にドライブを所定の位置にスライドします。

7 電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルをドライブに接続します。

オーディオケーブルがあるドライブを取り付ける場合、オーディオケーブルをオーディオカードのオーディオコネクタに接続します。

8 新しい CD/DVD ドライブを取り付ける場合（交換ではなく）、ドライブベイカバーを取り外します。

ドライブベイの内側から、ドライブベイカバーの両端を軽く押してドライブを取り出します。

9 専用のコントローラカードが付いているドライブを取り付ける場合、コントローラカードは拡張スロットに取り付けます。

ドライブとコントローラカードに付属しているマニュアルを参照して、ドライブがお使いのコンピュータ用に設定されているか確認します。

10 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。

11 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

12 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアのインストール手順については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。

プロセッサエアフローカバー

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

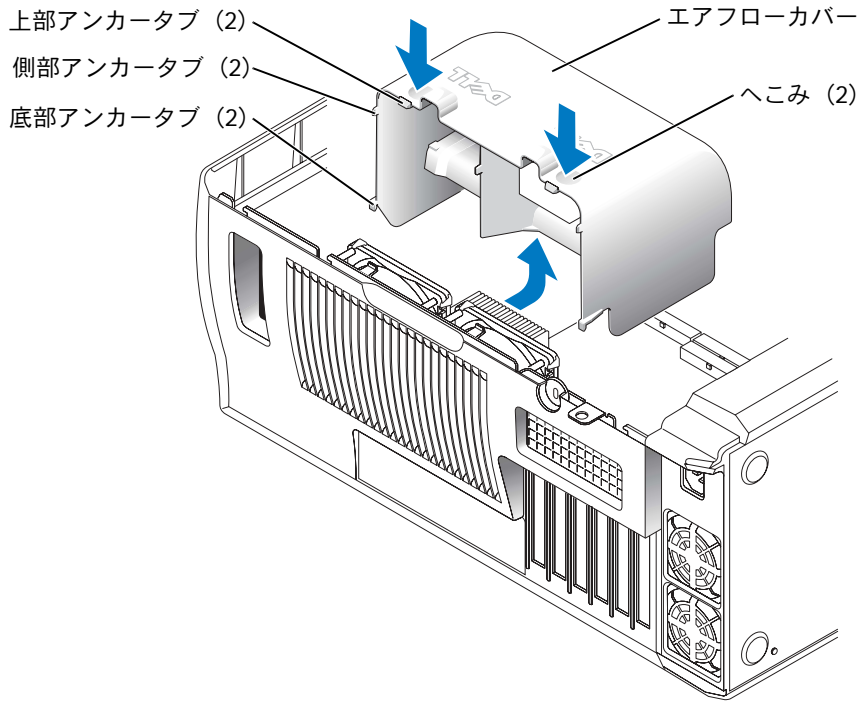
プロセッサエアフローカバーの取り外し

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 カバーの上部角にあるへこみ部分を押しながら、コンピュータの前面側へ動かします。

上部アンカータブがアンカースロットから外れます。

4 エアフローカバーをシャーシから持ち上げます。

プロセッサエアフローカバーの取り付け

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 底部アンカータブをアンカースロットに挿入します。

4 アンカータブとスロットの向きを合わせて、アンカータブをスロットに挿入します。

5 カバー上部のアンカータブが所定の位置にしっかりと収まるまでへこみ部分を押します。

6 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

7 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

プロセッサ

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

プロセッサの取り付け

メモ： 技術的な知識のある方のみこの手順をおこなってください。

警告：通常の操作中に、プロセッサは非常に高温になります。プロセッサに触れる前には十分に時間をかけ、プロセッサの温度が下がっていることを確認してください。

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 プロセッサエアフローカバーを取り外します（102 ページ参照）。

プロセッサを交換する場合、106 ページの「プロセッサの取り外し」の手順 4、5、および 6 に従います。

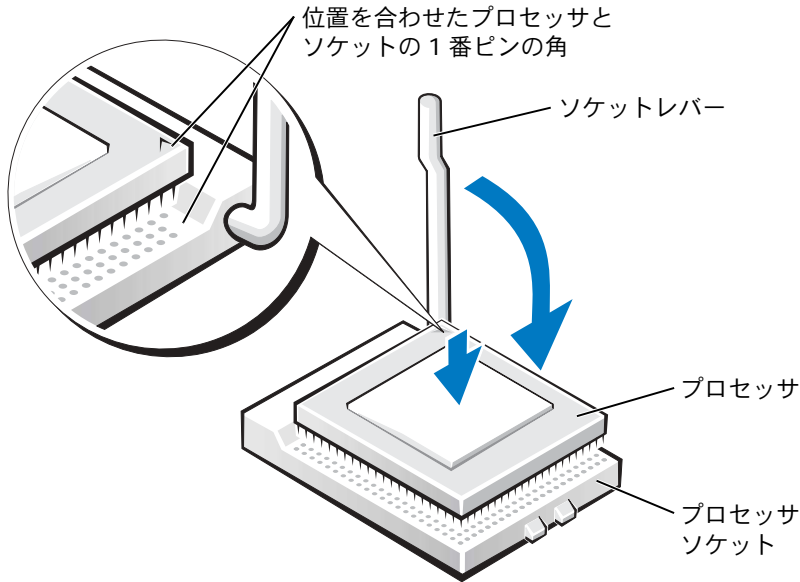
注意： プロセッサおよびコンピュータに修復できない損傷を防ぐため、プロセッサは正しくソケットに取り付けてください。

4 リリースレバーが完全に開いていない場合、開放位置まで動かします。

5 プロセッサの 1 番ピン（刷り込み印刷されている角）とソケットの 1 番ピンを合わせます。

注意： プロセッサピンは壊れやすいので、プロセッサへの損傷を防ぐため、プロセッサとソケットが正しく揃っているか確認してください。プロセッサを取り付ける際に無理に力を加えないでください。

6 慎重にプロセッサをソケットに置き、プロセッサを軽く押し下げて装着します。

7 リリースレバーが所定の位置にカチッと収まるまでシステム基板の方へ動かして、プロセッサを固定します。

8 ヒートシンクを取り付けるには、次の手順を実行します。

a ヒートシンクの切り込みのある端を、ヒンジの反対側にある保持基盤の端に挿入します。

b 保持基盤にしっかりと収まるまでヒートシンクを下げます。

c ヒートシンクを固定する際、タブが所定の位置に収まるまで保持モジュールクリップを回します。

9 デルのプロセッサ交換キットを取り付けた場合、元のヒートシンクアセンブリとプロセッサを、交換キットが送られてきた同じパッケージを使用してデルに返却してください。

10 エアフローカバーを取り付けなおします（103 ページ参照）。

11 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

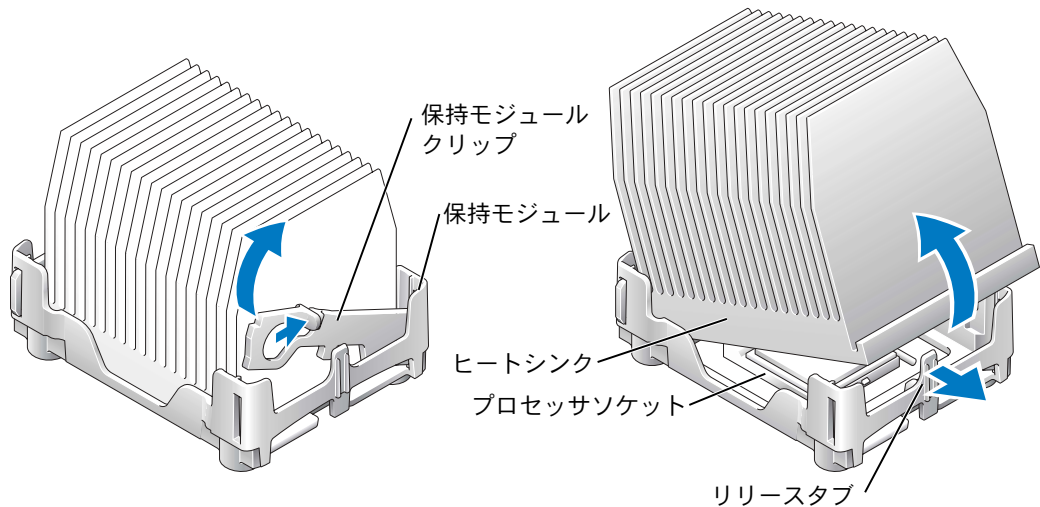
注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

12 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

プロセッサの取り外し

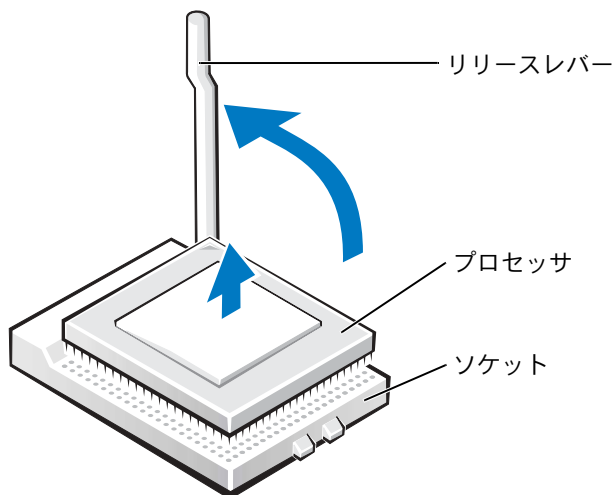
メモ：技術的な知識のある方のみこの手順をおこなってください。

警告：通常の操作中に、プロセッサは非常に高温になります。プロセッサに触れる前には十分に時間をかけ、プロセッサの温度が下がっていることを確認してください。

1. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
2. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
3. プロセッサエアフローカバーを取り外します（102 ページ参照）。
4. プロセッサヒートシンクを取り外すには、次の手順を実行します。
   - **a** 保持モジュールクリップをタブに押し込み、保持モジュールクリップを持ち上げて、保持モジュールクリップを取り外します。
   - **b** ヒートシンクが外れるまでリリースレバーを押します。
   - **c** プロセッサからヒートシンクを持ち上げます。

注意：サーマルグリスが付いた面を上に向けてヒートシンクを置きます。

注意：デルのプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、元のヒートシンクは廃棄してください。デルのものではないプロセッサアップグレードキットを取り付ける場合、新しいプロセッサを取り付ける際は、元のヒートシンクを再利用してください。

5 プロセッサが外れるまで、リリースレバーをまっすぐ引き上げます。

注意：プロセッサをソケットから取り外す際は、ピンを曲げないよう注意してください。ピンが曲がると、プロセッサに修復できない損傷を与える恐れがあります。

6 プロセッサをソケットから取り外します。

プロセッサを交換する場合、ソケットに新しいプロセッサを取り付けることができるように、リリースレバーは開放位置のままにしておきます。104 ページの「プロセッサの取り付け」に進みます。

7 エアフローカバーを取り付けなおします（103 ページ参照）。

8 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

9 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

正面パネル

⚠ **警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。**

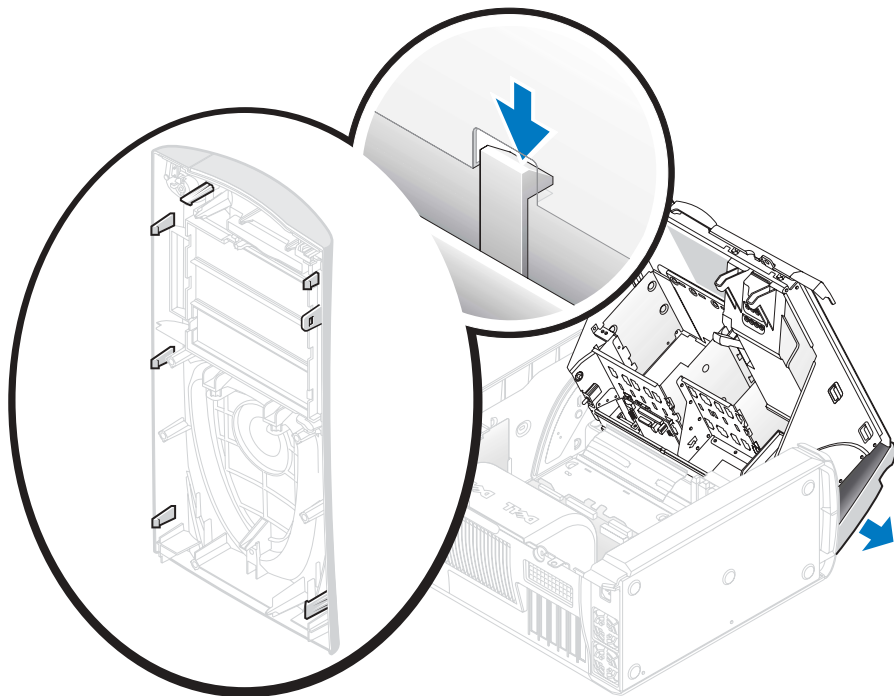
正面パネルの取り外し

1 76 ページの「はじめに」の手順に従います。

2 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

3 すべてのディスクドライブの接続を外して、ドライブを取り外します（92 ページの「ドライブ」を参照）。

4 正面パネルの各リリースタブを押して、正面パネルを取り外します。

リリースタブは、7 つあります。

5 コンピュータカバーを半分閉じて、正面パネルをコンピュータから取り外します。

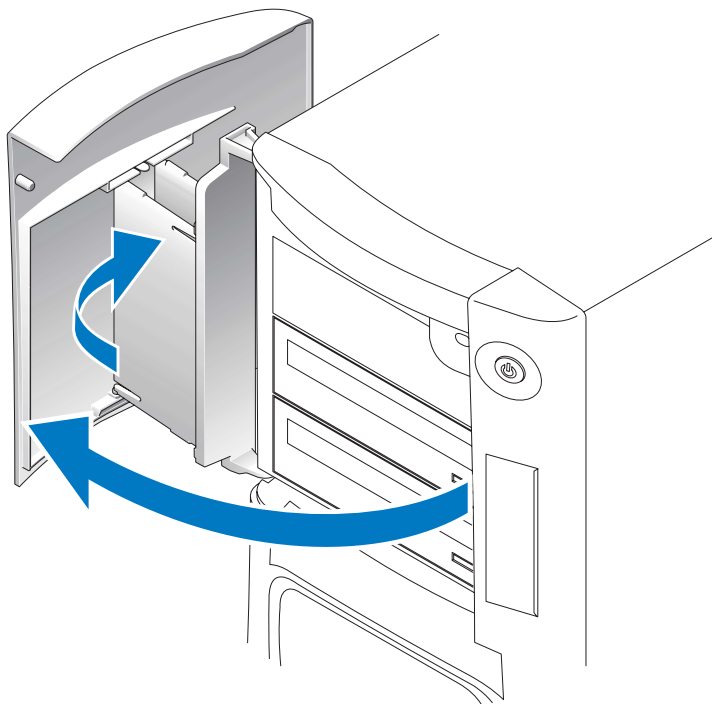
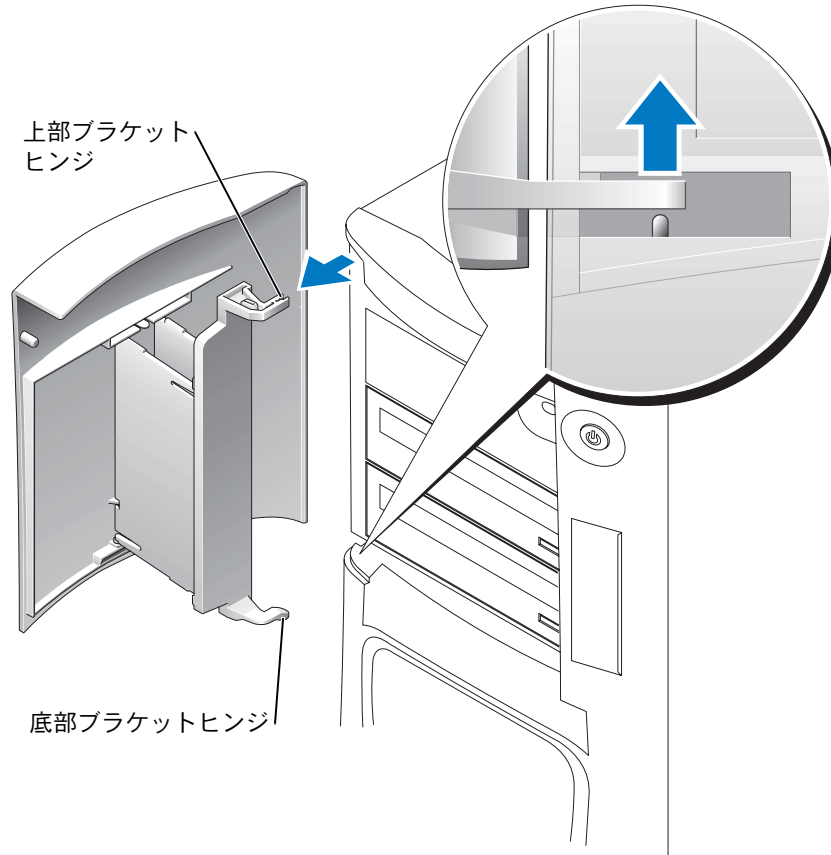
正面パネルの取り付け

正面パネルを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序でおこないます。

ドライブドア

⚠ **警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。**

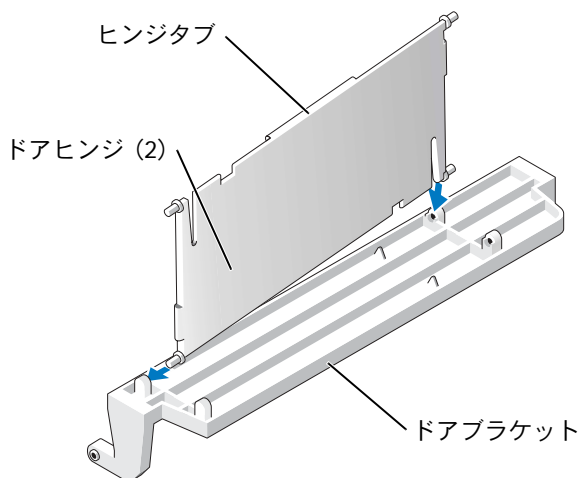
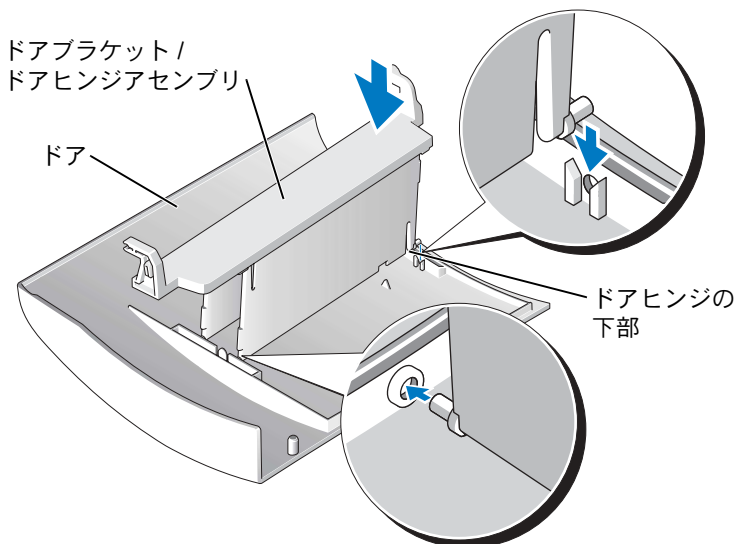
ドライブドアの取り外し

1 ドライブドアを開きます。

2 上部ブラケットヒンジを外し、ドライブドア上部を外側に引っ張って、コンピュータから取り外します。

3 底部ブラケットヒンジを持ち上げて、コンピュータから取り外します。

ドライブドアの取り付け

お使いのコンピュータへの損傷を防ぐため、ドライブドアを大きく開くとコンピュータから ドアが「外れる」ように設計されています。コンピュータからドライブドアが外れた場合、取り外し手順を逆の順序でおこないます。

ドライブドアを大きく開きすぎると、ドライブドアはコンピュータから外れずにいくつかの小さい部品に分解する場合があります。ドライブドアが分解した場合 …

1　必要に応じて、ドアヒンジをドアブラケットに取り付けなおします。ヒンジタブがドアブラケットから外れていることを確認します。

2　各ドアヒンジの下部からドアブラケット / ドアヒンジアセンブリをドアに取り付けます。

3　ブラケットヒンジの下部からドライブドアをコンピュータに取り付けます。

バッテリー

警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報を再設定しなければならない場合、バッテリーを交換します。

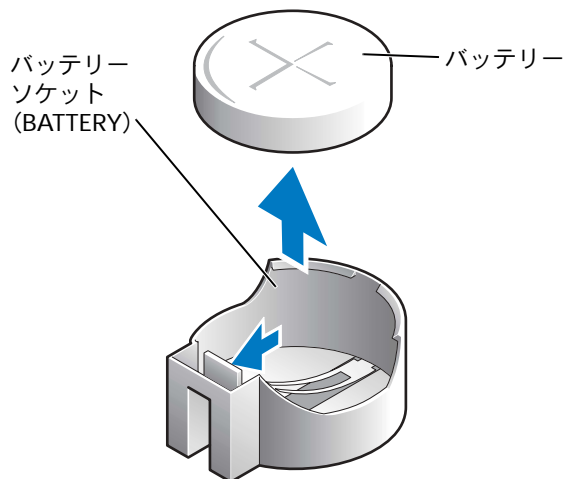
警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。使用済みバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

1. セットアップユーティリティのすべての画面を記録して（119 ページ参照）、手順 9 で正しい設定に復元することができるようにします。
2. 76 ページの「はじめに」の手順に従います。
3. コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。
4. バッテリーソケットを確認します（81 ページ参照）。

注意：道具（先端の鋭くないもの）を使用してバッテリーをソケットから取り出す際に、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを取り外してください。これらの手順を踏まないと、バッテリーソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与える恐れがあります。

5. 指またはプラスチック製のスクリュードライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具を使って、バッテリーをバッテリーソケットから取り外します。

6 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の場所にカチッとはめ込みます。

7 コンピュータカバーを閉じます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

8 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

9 セットアップユーティリティを起動して（119 ページ参照）、手順 1 で記録した設定に戻します。

10 取り外したバッテリーは適切な方法で処分します（12 ページ参照）。

コンピュータカバーを閉じる

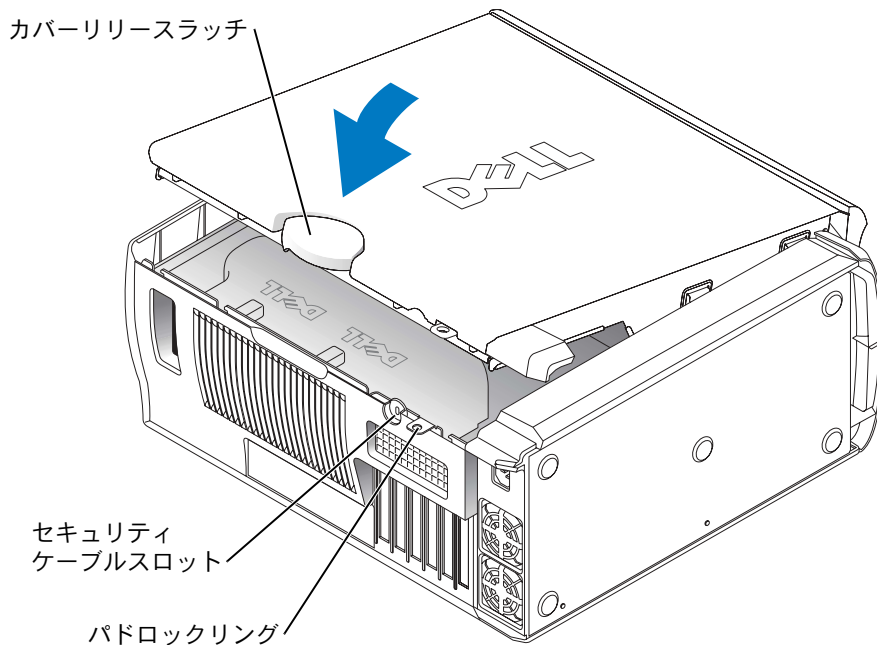
1 すべてのケーブルが接続されているか確認し、ケーブルをまとめておきます。

2 コンピュータ内部にツールや余分な部品が残っていないか確認します。

3 コンピュータカバーを閉じるには、次の手順を実行します。

a カバーを所定の位置に下ろします。

b カバーを押さえて閉じます。

c カバーが閉じたら、カバーリリースラッチを所定の位置にカチッと収まるまで右側にスライドさせます。

4 コンピュータの安全性のためにパドロックを使用する場合、パドロックを取り付けます。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

5 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

6

付録

仕様

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Pentium® 4
L1 （レベル 1）キャッシュ	8 KB
L2 （レベル 2）キャッシュ	512 KBまたは1 MBパイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエティブ、ライトバック SRAM
L3 （レベル 3）キャッシュ	2 MB **メモ：**L3 キャッシュは、ハイパースレッディングテクノロジをサポートしている Intel Pentium 4 3.20 GHz プロセッサ Extreme Edition でのみ利用可能です。

メモリ	
タイプ	400 MHz DDR SDRAM
メモリコネクタ	4
メモリ容量	128 MB、256 MB、512 MB または 1 GB 非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大メモリ	4 GB
BIOS アドレス	F0000h

コンピュータ情報	
チップセット	Intel 875P
DMA チャネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ	4 Mb

コンピュータ情報（続き）	
NIC	内蔵 PCI ネットワークインタフェース
システムクロック	533 MHz または 800 MHz データ転送速度

ビデオ	
タイプ	AGP 8 倍速

オーディオ	
タイプ	Sound Blaster Audigy 2 サウンドカード
コネクタ	5（ライン入力、ライン出力、マイク、サラウンド、およびセンター/ LFE チャネル）

拡張バス	
バスのタイプ	PCI および AGP
バス処理速度	PCI：33 MHz
	AGP：133 MHz
AGP：	
コネクタ	1
コネクタサイズ	172 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット
バスプロトコル	1.5 V で 8 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速モード
PCI：	
コネクタ	4
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット

ドライブ	
フロントドライブベイ	3.5 インチドライブベイ × 1
	5.25 インチドライブベイ × 3
使用可能デバイス	ATA-100 Ultra DMA ハードドライブ、シリアル ATA ドライブ、CD ドライブ、DVD ドライブ、RAID

ドライブ（続き）	
内蔵ベイ	3.5 インチドライブベイ × 3

コネクタ	
外付けコネクタ：	
シリアル	16550C 互換 9 ピンコネクタ × 2
パラレル	25 ピンコネクタ（双方向）（メス）
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Ethernet コネクタ
PS/2（キーボードおよびマウス）	6 ピンミニ DIN
USB コネクタ	USB 2.0 準拠コネクタ × 8（正面パネルに 2 つと背面パネルに 6 つ）
オーディオ	正面パネルにヘッドフォンコネクタ × 1、マイクコネクタ × 1
システム基板コネクタ：	
プライマリ IDE ドライブ	40 ピンコネクタ
セカンド IDE ドライブ	40 ピンコネクタ
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ
ファン（3）	3 ピンコネクタ
I/O パネル	34 ピンコネクタ
シリアル ATA （2）	7 ピンコネクタ
Sound Blaster® Audigy™ 2 サウンドカードコネクタ：	
オーディオ	5（ライン入力、ライン出力、マイク、サラウンド、およびセンター/ LFE チャネル）
IEEE 1394	正面パネル 6 ピンシリアルコネクタ × 1 背面パネル 6 ピンシリアルコネクタ × 1

ボタンとライト	
電源ボタン	押しボタン
電源ライト	電源ボタン上に緑色のライト ― スリープ状態の場合は緑色に点滅、コンピュータに電源が入っている場合は緑色に点灯
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	10 Mb 伝送時は緑色のライト 100 Mb 伝送時は橙色のライト 1000 Mbps（または 1 Gbps）伝送時は黄色のライト
動作ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネルの 4 つのライト

電源	
DC 電源装置：	
ワット数	460 W
熱消費	1000 BTU / 時
電圧（電圧設定に関する重要な情報については、9 ページを参照）	固定電圧電源装置 ― 50/60 Hz で 100 V 手動設定および自動センサー電源装置 ― 50/60 Hz で 100 V
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

サイズと重量	
高さ	49.1 cm
幅	22.2 cm
奥行	48.8 cm
重量	19 kg

環境	
温度：	
使用時	10 ° ～ 35 ℃ メモ：35 ℃で最大動作高度は 914 m
保管時	– 40° ～ 65 ℃
相対湿度	20 % ～ 80 % （結露しないこと）
最大振動：	
使用時	0.25 G （3 ～ 200 Hz、0.5 オクターブ / 分）
保管時	0.5 G （3 ～ 200 Hz、1 オクターブ / 分）
最大衝撃：	
使用時	50.8 cm / 秒の速度変化でボトムハーフサインパルス
保管時	非動作時（ハーフサインパルス）105 G、2 ミリ秒 非動作時（フェアドスクエアウェーブ）508 cm / 秒の速度変化で 27 G
高度：	
使用時	– 15.2 ～ 3,048 m
保管時	– 15.2 ～ 10,668 m

標準設定

セットアップユーティリティには、コンピュータの標準設定が含まれています。

注意：コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動かなくなる可能性があります。

設定の表示

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

2 青色の DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の設定情報が表示されます。画面上の情報は 5 つの領域に分かれます。

- **Title** — すべての画面の一番上のボックスにあり、コンピュータ名を表示します。
- **Computer data** — Title ボックスの下にある 2 つのボックスで、コンピュータプロセッサ、L2 キャッシュ、サービスタグ、および BIOS のバージョン番号を表示します。
- **Options** — スクロール付きのボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示すオプションを一覧表示します。

  オプションタイトルの右側のフィールドには、設定や値が表示されています。ご自身で変更できるフィールドは、画面上で明るく表示されます。ご自身で変更できないフィールド（コンピュータによって設定されているため）は、暗く表示されます。<ENTER> がオプションタイトルの右側に表示されたら、<Enter> を押して追加オプションのあるポップアップメニューにアクセスします。

- **Key functions** — 画面の一番下にある 1 列に並んだボックスで、セットアップユーティリティでのキーとキーの機能を表示します。
- **Help** — <F1> を押すと、選択された（ハイライト表示された）オプションの情報を表示します。

Boot Sequence（起動順序）

この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。

現在の起動用の起動順序の変更

この機能を使って、たとえば、『Dell Dimension ResourceCD』にある Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行するよう CD ドライブからコンピュータを起動するように設定できます。ただし、Dell Diagnostics （診断）プログラムが完了したら、コンピュータはハードドライブから起動するよう指定する必要があります。

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. 画面右上角に `F2 = Setup, F12 = Boot Menu` が表示された場合、<F12> を押します。

   ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして（28 ページ参照）、再度試みます。

利用可能なすべての起動デバイスが **Boot Device Menu** の一覧に表示されます。各デバイス名の横に番号が付いています。

3 メニューの一番下で、現在の起動のみに使用されているデバイスの番号を入力します。

将来の起動用の起動順序の変更

1 セットアップユーティリティを起動します（119 ページ参照）。

2 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押して、ポップアップメニューにアクセスします。

メモ：後で元に戻すことができるよう現在の起動順序を控えておいてください。

3 上下矢印キーを押して、デバイスの一覧内を移動します。

4 スペースバーを押して、デバイスを有効または無効にします（有効になっているデバイスにはチェックマークが付いています）。

5 プラス（+）またはマイナス（–）を押して、選択したデバイスを一覧の上または下に移動します。

パスワードを忘れたら

警告：**9 ページ****にある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。**

ユーザーパスワードまたはセットアップパスワードを忘れた場合、忘れたパスワードを消去するまで、コンピュータの操作やセットアップユーティリティの設定を変更できません。

注意：この手順は、システムパスワードおよびセットアップパスワードの両方を無効にします。

1 コンピュータをシャットダウンします（28 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 取り付けられているすべてのデバイスの電源を切り、コンセントから外します。

3 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

4 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

5 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパ（PASS）の位置を確認し（81 ページ参照）、2 番ピンおよび 3 番ピンにジャンパプラグを被せて、パスワードを消去します。システム基板の白い矢印が 1 番ピンを示します。

メモ：お使いのコンピュータは出荷時に、1 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパプラグが取り付けられています。

6 コンピュータカバーを閉じます（114 ページ参照）。

7 コンピュータとモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。

8 コンピュータに Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします（28 ページ参照）。

9 モニターの電源を切って、コンセントから外します。

10 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

11 コンピュータカバーを開きます（78 ページ参照）。

12 システム基板の 3 ピンパスワードジャンパの位置を確認し（81 ページ参照）、1 番ピンおよび 2 番ピンにジャンパを取り付けて、パスワード機能を再度有効にします。

13 コンピュータカバーを取り付けなおします（114 ページ参照）。

注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

14 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名または** **サービス内容** **ウェブサイトおよび E メールアドレス**	**市内番号** **市外局番および** **フリーコール番号**
日本（川崎）	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	テクニカルサポート （Dimension™ および Inspiron™ ）	フリーコール：0120-198-226
国番号：**81**	テクニカルサポート（海外から） （Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
市外局番：**44**	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM / FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータシステムを含む電波放射を目的としないデジタル装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータシステムは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン / オフにすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者または、ラジオ / テレビの専門家にご相談してください。

デル製品の保証および返品について

『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

索引

あ

か

さ

た

ら